

リーディング事業の主な実施状況（平成30年度）

緑に関わる幅広いパートナーの創出（キーワード：多世代への緑のアプローチ）

実施施策1 緑の活動への多様な主体の参加と持続可能な活動の促進

取組 身近な公園緑地等の管理運営事業

- ・公園での愛護活動において、近隣保育所と連携した花壇づくりや美化活動を試行的に実施した。



保育所と連携した愛護活動

実施施策7 環境学習における「緑育」の充実

取組 緑のボランティアセンター事業

- ・自然体験教室「こども黄緑クラブ」を実施し、301名が参加した。（全9回）



こども黄緑クラブ



たかつきもの探検隊

「エコシティたかつ」推進事業

- ・「たかつ生きもの探検隊」、「たかつ水と緑の探検隊」をそれぞれ1回ずつ実施した。

樹林地の保全と活用（キーワード：緑地保全協定締結の推進、里山の利活用）

実施施策10 多様な機能を発揮する樹林地の保全

取組 緑地保全事業

- ・地権者に保全の理解と協力を得られた樹林地について、特別緑地保全地区の指定（約1.9ha）と、緑地保全協定の締結（約0.2ha）を実施した。



電車山特別緑地保全地区



上麻生仲村特別緑地保全地区

実施施策37 地域連携による里地・里山の保全と利活用

取組 農と環境を活かした連携事業

- ・黒川地域において、田畑が広がる里山風景を回遊しながらアートを楽しむ「緑と道の美術展 in 黒川2018」を支援した。



会場の様子



展示の様子（サイクリング：石黒和夫作）



ルートマップ

多摩川緑地の整備と活用（キーワード：水辺空間の活用を進めるための基盤の充実）

実施施策15 多摩川緑地施設の利便性向上

取組 多摩川プラン推進事業

- ・多摩区布田地先にて、二ヶ領用水の取水口の箇所に橋梁整備を実施した。これにより、川崎市のサイクリングコースと稲城市のサイクリングコースが接続された。



多摩川ピクニック橋

臨海部におけるまとまりのある緑の創出（キーワード：共通緑地の創出に向けた検討）

実施施策39 多様な主体との連携による風の道の形成

取組 臨海部活性化推進事業

- ・臨海部の工場が必要とする緑地を集約し、市民が親しみ憩える「共通緑地」の実現に向け、企業等と意見交換を行い、制度構築に向けた検討を進めた。



リエゾン研究会

多様な機能を備えた特色のある公園づくり（キーワード：大規模公園緑地等の魅力創出）

実施施策18 地域特性に応じた特色のある公園緑地の整備推進

取組 各大規模公園緑地等の整備事業

- ・等々力緑地や夢見ヶ崎公園といった特色のある公園において、民間活力導入による整備及び管理運営についてマーケットサウンディングを実施した。富士見公園においては、競輪場コンパクト化に伴い、跡地に園路や芝生広場の整備を行った。



富士見公園の園路等整備

地域緑化の推進による緑のまちづくり（キーワード：150万市民による持続的な緑化の推進）

実施施策23 地球環境に配慮した緑化活動の推進

取組 各区の緑化推進事業

- ・川崎区：田島地区にて、児童の登下校に合わせて草花の手入れをする「ハニカム見守り運動」を実施した。
- ・幸区：「さいわい花クラブ実行委員会」を中心に、区民の参加と協働による公共空間の緑化活動を実施した。
- ・中原区：ボランティアによる区内5か所の公共花壇の植栽管理や、花植え体験を実施した。
- ・高津区：ボランティアによる区内10所の「区民ミニガーデン」の植栽管理や花植え体験を実施した。
- ・宮前区：緑化活動団体向けにガーデニング講座を開催し、花壇づくりの技術支援を行った。
- ・多摩区：身近な草花の楽しみ方の講演会等を開催し緑化促進の意識高揚を図った。
- ・麻生区：地域の団体と連携しながら、区の花「ヤマユリ」の植栽地の管理活動を実施し、さらに普及活動として育苗講習会や開花展を実施した。



川崎区



幸区



麻生区



多摩区



宮前区



高津区



中原区

緑を核とした地域コミュニティ形成とまちの魅力創出

（キーワード：公園の有効活用に向けた手法の確立）

実施施策35 公園の柔軟な管理運営による魅力の向上

取組 パークマネジメント推進事業

- ・公募対象施設である建築物を設ける場合の建ぺい率の緩和、保育所等社会福祉施設の占用に関して、川崎市都市公園条例の一部改正を実施した。
- ・公園への民間活力導入の足掛かりとして、王禅寺ふるさと公園や夢見ヶ崎公園において地域や団体等と連携したイベントを実施した。



王禅寺ふるさと公園でのマルシェ

計画に位置づける事務事業一覧

※「実施策No.」の色について

■ : 基本施策 I 「緑のパートナーづくり」

■ : 基本施策 II 「緑の空間づくり」

■ : 基本施策 II 「グリーンコミュニティづくり」

実施策No.	実施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
1	緑の活動への多様な主体の参加と持続可能な活動の促進	管理運営協議会等の設立促進と活動支援を行い、市民等との協働による公園緑地等の適切な維持管理を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●管理運営協議会等の設立促進と活動支援 ●若い世代の参画促進に向けた取組の検討と推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営協議会等の未設立の公園緑地等の設立促進を図るため、団体の主な母体となる町内会等への制度周知等により、管理運営協議会の新規設立及び公園緑地愛護会から管理運営協議会への移行によって、活動公園数が549公園から562公園に増加した。 ・公園緑地愛護会の活動公園数が326公園から329公園に増加した。 ・報奨金の交付、機械工具の貸出し、管理運営協議会・公園緑地愛護会合同連絡会での情報提供や剪定講習会の開催などにより活動支援を行った。 ・公園での愛護活動では、近隣保育所と連携した花植、美化活動を試行的に実施するなど団体を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●管理運営協議会等の設立促進と活動支援 ●若い世代の参画促進に向けた取組の検討と推進
		公益財団法人川崎市公園緑地協会の「緑のボランティアセンター」の運営を支援し、緑の活動団体等の参画を促進します。	●緑の活動団体等の設立促進と活動支援	保全活動団体等が集うイベント等において、制度周知を図り6団体が新規登録となったものの、メンバーの高齢化等を背景とした廃止が10団体あったことから、平成30年度末の登録団体数253団体となった。	●緑の活動団体等の設立促進と活動支援
		市民との協働による河川及び水路の適切な維持管理を進めます。	●河川愛護活動への支援、参加団体との意見交換	・河川愛護活動への支援、参加団体との意見交換を実施した。	●河川愛護活動への支援、参加団体との意見交換
		町内会・自治会等による二ヶ領用水の清掃・愛護活動を支援し、緑豊かな水辺空間づくりと、区民の環境愛護活動を推進します。	●区民による二ヶ領用水の清掃・愛護活動に対する支援・協力	●二ヶ領用水の清掃・愛護活動を行う町内会・自治会に対し、清掃に必要な物品を提供することで支援を行った。	●区民による二ヶ領用水の清掃・愛護活動に対する支援・協力
		多様な主体が公園や緑に触れるきっかけとなるイベントを開催します。	●花と緑の市民フェア、ふれあい公園等の実施	宮前区ふれあい公園は、10月21日(日)午前10時から午後3時まで、宮前公園において、宮前区民祭と同日開催により実施した。 ・植樹祭の開催 ・高津区、宮前区、麻生区の3区で公園利用活性化イベントとしてふれあい公園を実施した。	●花と緑の市民フェア、ふれあい公園等の実施
2	民間企業・教育機関等の参画促進	事業者との協働による緑化の推進、普及啓発を行い、環境の改善、景観向上に向けたまちづくりを進めます。	●事業所緑化協定の締結及びみどりの事業所推進協議会への加盟促進	実績なし	●事業所緑化協定の締結及びみどりの事業所推進協議会への加盟促進
		企業、教育機関などと協働して緑地保全計画を作成し、植生管理など保全緑地の適正な管理を進めます。	●企業、教育機関等の協働による緑地保全の取組「かわさき里山コラボ」事業の推進	企業が集う場などにおいて、かわさき里山コラボ事業の制度周知等を図ったものの、新規参画には至らなかった。協定期間満了に伴い、2企業と協定の更新を行った。(H30年度末時点:5企業等が参画)	●企業、教育機関等の協働による緑地保全の取組「かわさき里山コラボ」事業の推進
		川崎市のフィールド等を活用した産学公民の多様な主体との連携により、地域の環境課題の解決や環境技術の市内集積などによる環境改善を目指した共同研究を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●環境技術産学公民連携共同研究事業の推進(公募型5件・連携型1件) ●共同研究事業に関する情報発信(セミナー開催・川崎国際環境技術展への出展) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者、大学、研究機関等と連携し、環境技術に関する共同研究事業を実施した。(7件) ・共同研究事業等に関するセミナーを実施した。(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境技術産学公民連携共同研究事業の推進(公募型5件・連携型1件) ●共同研究事業に関する情報発信(セミナー開催・川崎国際環境技術展への出展)
3	市民や民間企業等の緑化意識の啓発	ヒートアイランド現象の緩和や都市景観の向上等に向け、市制100周年を迎える平成36年までに市民・事業者との協働により、100万本の植樹を目指して植樹運動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民100万本植樹運動の推進 ○協働の取組による植樹運動の推進 ・行政・事業者・個人の植樹の取組の推進の継続実施 ○イベント等による植樹運動の推進 ・市民100万本植樹運動植樹祭の開催の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者・行政のパートナーシップによる、市民100万本植樹運動を推進した結果、平成30年度末までに約94万9千本の植樹を達成した。 ・川崎区の殿町第2公園で植樹祭を開催し、約500本の植樹を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民100万本植樹運動の推進 ○協働の取組による植樹運動の推進 ・行政・事業者・個人の植樹の取組の推進の継続実施 ○イベント等による植樹運動の推進 ・市民100万本植樹運動植樹祭の開催の継続実施
		公益財団法人川崎市公園緑地協会の「緑のボランティアセンター」の運営を支援し、緑のボランティアの育成・活用を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●緑の人材バンク登録と樹林地の維持管理等への人材の活用(里山での活動に向けた基礎的知識や、枝打ち、竹林の管理法、観察会などのフィールド学習など) ●里山ボランティア育成講座、花と緑のまちづくり講座等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のまちづくり講座(受講者26名、修了者19名) ・花と緑のまちづくり講座受講者修了生を対象に、花壇ボランティア実践講座を開催(受講者24人、修了者22人) ・里山ボランティア育成講座(受講者180名、修了者22名) ・緑の人材バンク登録者は193名、公園緑地等の保全活動イベントなどに累計460名を活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●緑の人材バンク登録と樹林地の維持管理等への人材の活用(里山での活動に向けた基礎的知識や、枝打ち、竹林の管理法、観察会などのフィールド学習など) ●里山ボランティア育成講座、花と緑のまちづくり講座等の開催
4	緑の人材育成と活用	環境配慮の考え方が定着することにより、市民・事業者・行政が協働して環境保全に取り組むことができるよう、教育プログラム、人材育成、情報発信を充実します。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域環境リーダーの育成 ・育成講座の実施 ・地域環境リーダー数:324人以上 	平成30年度の地域環境リーダー育成講座修了生数は15人	<ul style="list-style-type: none"> ●地域環境リーダーの育成 ・育成講座の実施 ・地域環境リーダー数:332人以上
		ばら苑の開催に向けて、市民ボランティアと協働した適正な維持管理を行います。	●生田緑地ばら苑ボランティアの活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティアとの協働によるバラの育成管理を実施した。 ・来苑者数は春・秋の合計86,867人 ・ばら苑コンサート、地元中学生による演奏、講習会等、来苑者へのサービスの充実を行った。 	●生田緑地ばら苑ボランティアの活用の推進
		今後の本市農業を担う経営感覚に優れた農業者(担い手)の育成・確保を目的として、女性・青年農業者団体が「行う活動への支援を通じ、農業者同士のネットワークづくりを図るとともに、研修会の開催や認定農業者等の経営改善計画の達成に向けた支援を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●女性農業者団体の活動に対する支援 ○農業者間の情報共有、経営能力の向上、市民の農理解の促進への支援の推進 ・支援回数:18回以上 ●担い手の育成・確保に向けた農業体験への支援 ○青年農業者団体が開催する農業体験への支援の促進 ・支援回数:2回以上 ●経営能力の向上を目的とした研修会の開催 ○担い手・後継者向けの経営能力向上を目的とした研修会の実施 ・開催数:2回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファーマーズクラブの開催(2日) ・女性農業者(あかね会)の活動への支援(19回) 	<ul style="list-style-type: none"> ●女性農業者団体の活動に対する支援 ○農業者間の情報共有、経営能力の向上、市民の農理解の促進への支援の推進 ・支援回数:18回以上 ●担い手の育成・確保に向けた農業体験への支援 ○青年農業者団体が開催する農業体験への支援の促進 ・支援回数:2回以上 ●経営能力の向上を目的とした研修会の開催 ○担い手・後継者向けの経営能力向上を目的とした研修会の実施 ・開催数:2回以上
		都市農地を保全し、農業の担い手の高齢化や減少に対応するため、市民ボランティアの育成・活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●援農ボランティアの育成 ○育成事業の推進 ・ボランティア数:累計97人以上 ●講座修了後の援農ボランティアの活用促進に向けた支援 ・援農ボランティアの活用促進に向けた支援の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●援農ボランティアの育成 ○育成事業の推進 ・ボランティア数:累計112人以上 ●講座修了後の援農ボランティアの活用促進に向けた支援 ・援農ボランティアの活用促進に向けた支援を継続して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●援農ボランティアの育成 ○育成事業の推進 ・ボランティア数:累計112人以上 ●講座修了後の援農ボランティアの活用促進に向けた支援 ・援農ボランティアの活用促進に向けた支援の継続実施
5	緑の活動に対する支援の充実	公益財団法人川崎市公園緑地協会の「緑のボランティアセンター」の運営を支援し、緑のボランティアの人材の育成・活用、活動支援、交流促進を進めます。	●緑のボランティアの活動支援(助成金の交付、情報提供、器具貸し出し等)	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のまちづくり講座の開催など各種講座の開催により、ボランティアの育成を図った。 ・紙媒体(緑のボランティア通信発行年5回)や電子媒体(HPやフェイスブック)を用いた情報発信、活動団体等の交流会(里山編、花壇編)の場などにおける情報提供、緑の活動団体助成金の交付などにより活動支援を行った。 ・企業等に対してノコギリ等の貸出しによる活動支援を行った。 	●緑のボランティアの活動支援(助成金の交付、情報提供、器具貸し出し等)
		公益財団法人川崎市公園緑地協会の「緑のボランティアセンター」の運営を支援し、優れた緑の景観等の表彰を進めます。	●「わがまち花と緑のコンクール」の開催	・市民による実行委員会形式で企画等を行い、「わがまち花と緑のコンクール」を開催した。(応募数103件)	●「わがまち花と緑のコンクール」の開催
6	市民・民間企業の緑の取組に対する表彰等による活動意識の高揚	地域環境の向上等に顕著な功績のあった個人・団体を表彰するとともに、その活動等について広く情報発信します。	●川崎市環境功労者の表彰式	表彰件数:37組	●川崎市環境功労者の表彰式
		高い省エネ性能を有するなど環境への配慮に関する自主的な取組を促し、環境負荷の低減を図り、環境配慮建築物が評価される市場の形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「建築物環境配慮制度(CASBEE川崎)」の適正かつ効率的な運用 ・申請件数:100件 ●説明会等による環境配慮建築物に関する普及・啓発 ・実施回数:4回以上 	新規届出件数65件	<ul style="list-style-type: none"> ●「建築物環境配慮制度(CASBEE川崎)」の適正かつ効率的な運用 ・申請件数:100件 ●説明会等による環境配慮建築物に関する普及・啓発 ・実施回数:4回以上

実施 策名 No.	実施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
7	環境学習における「緑育」の充実	公益財団法人川崎市公園緑地協会の「緑のボランティアセンター」の運営を支援し、川崎の緑を守り育てる子どもたちの応援を進めます。	●子ども黄緑クラブの実施(年4回)	・子ども黄緑クラブ(年9回)を開催し、子ども155名、保護者146名が参加した。 ・チャレンジボランティア体験学習(夏休み期間中に4日間)を開催し、延べ27名が参加した。 ・小中学校向けの「生活科・総合的な学習の時間」小冊子に(公財)川崎市公園緑地協会の取組等をPRし緑育の推進を図るとともに、小学校等における緑地保全活動などの支援を実施した。	●子ども黄緑クラブの実施(年4回)
		動物とのふれあいや環境学習の場の創出に向けた取組を進めます。	●公園や地域のにぎわい創出に向けた取組の推進 ○魅力向上に向けた取組の推進 ・動物園まつりの実施 ・飼育のイベントの実施 ・サマースクールによる飼育体験を通じての環境教育 ・自然保護に関する学習の場の提供	・春の動物園まつりを開催した(秋の動物園まつりは台風のため中止)来園者約6,000人 ・飼育の日を開催(来園者約3,000人) ・サマースクールは台風のため中止 ・職場体験を実施(12校)	●公園や地域のにぎわい創出に向けた取組の推進 ○魅力向上に向けた取組の推進 ・動物園まつりの実施 ・飼育のイベントの実施 ・サマースクールによる飼育体験を通じての環境教育 ・自然保護に関する学習の場の提供
		市民団体や企業など多様な主体と連携しながら、体験型の環境教育・学習を実施し、環境問題を知り、行動できる人材を育成します。	●環境に関するセミナーや生き物観察会等の環境学習講座の実施(H28参加者:647名参加) ●環境学習用冊子(「水辺の生きもの」等)の配布 ●環境学習学生サポーター制度の市民等への周知 ●ホームページ等を活用した環境学習に関する情報提供の検討	●環境に関するセミナーや生き物観察会等の環境学習講座を実施した(H29参加者:952名参加) ●環境学習用冊子(「水辺の生きもの」等)を配布した。 ●環境学習学生サポーター制度を市民等へ周知した。 ●ホームページ等を活用した環境学習に関する情報提供について検討した	●環境に関するセミナーや生き物観察会等の環境学習講座の実施(H28参加者:647名参加) ●環境学習用冊子(「水辺の生きもの」等)の配布 ●環境学習学生サポーター制度の市民等への周知 ●ホームページ等を活用した環境学習に関する情報提供について検討
		地球温暖化等に対する取組を、地域レベルにおいて多様な主体との連携により推進し、持続可能な社会(エコシティ)の形成をめざします。	●区内小学校等のピオトープを活用した環境学習の推進 ・「学校流域プロジェクト」事業手法・内容の検討・実施 ・教職員向け研修会実施回数:1回 ・エコシティたかつ推進フォーラム開催回数:1回 ●生物多様性・保水力向上を図る市民協働の実践的取組「たかつの自然の賑わいづくり事業」の実施 ○児童向けイベント「たかつ生きもの探検隊」・市民向けイベント「たかつ水と緑の探検隊」の実施 ・実施回数:各1回 ●地球温暖化適応策・生物多様性保全に関する意識啓発及び「エコシティたかつ」の理解促進 ○区内企業・団体で実施している取組等を見学する「たかつエコシティツアー」の実施 ・実施回数:1回	●区内小学校等のピオトープを活用した環境学習の推進 ・区内市立小学校等でピオトープを活用した環境学習を16回実施した。 ・教職員向けに授業へのピオトープ活用研修会を1回実施した。 ・エコシティたかつ推進フォーラムを1回実施した。 ●生物多様性・保水力向上を図る市民協働の実践的取組「たかつの自然の賑わいづくり事業」を実施した。 ・たかつ生きもの探検隊、たかつ水と緑の探検隊をそれぞれ1回ずつ実施した。 ●地球温暖化適応策・生物多様性保全に関する意識啓発及び「エコシティたかつ」の理解促進 ○たかつエコシティツアーとして小網代の森(三浦市)の見学を1回実施した。	●区内小学校等のピオトープを活用した環境学習の推進 ・「学校流域プロジェクト」事業手法・内容の検討・実施 ・教職員向け研修会実施回数:1回 ・エコシティたかつ推進フォーラム開催回数:1回 ●生物多様性・保水力向上を図る市民協働の実践的取組「たかつの自然の賑わいづくり事業」の実施 ○児童向けイベント「たかつ生きもの探検隊」・市民向けイベント「たかつ水と緑の探検隊」の実施 ・実施回数:各1回 ●地球温暖化適応策・生物多様性保全に関する意識啓発及び「エコシティたかつ」の理解促進 ○区内企業・団体で実施している取組等を見学する「たかつエコシティツアー」の実施 ・実施回数:1回
		団体宿泊生活や野外活動を通じて心身ともに青少年の健全な育成を図るとともに、子どもの遊び、活動の促進に向けた場を提供します。	●八ヶ岳青少年自然の家における団体宿泊訓練や自然に親しむ学習活動、探求野外観察等の実施 ・利用人数: 96,000人以上 ●黒川青少年野外活動センターにおける野外自然観察活動等の実施 ・利用人数: 31,000人以上 ●子ども夢パークにおける子どもの自発的な活動の支援及び子どもを対象とした各種イベント等の実施 ・利用人数: 92,000人以上 ●青少年の家における団体宿泊活動等の実施 ・利用人数: 34,000人以上	●八ヶ岳青少年自然の家における団体宿泊訓練や自然に親しむ学習活動、探求野外観察等の実施 ・利用人数(実績値): 98,793人 ●黒川青少年野外活動センターにおける野外自然観察活動等の実施 ・利用人数(実績値): 30,757人 ●子ども夢パークにおける子どもの自発的な活動の支援及び子どもを対象とした各種イベント等の実施 ・利用人数(実績値): 87,103人 ●青少年の家における団体宿泊活動等の実施 ・利用人数(実績値): 39,277人	●八ヶ岳青少年自然の家における団体宿泊訓練や自然に親しむ学習活動、探求野外観察等の実施 ・利用人数: 96,000人以上 ●黒川青少年野外活動センターにおける野外自然観察活動等の実施 ・利用人数: 31,000人以上 ●子ども夢パークにおける子どもの自発的な活動の支援及び子どもを対象とした各種イベント等の実施 ・利用人数: 92,000人以上 ●青少年の家における団体宿泊活動等の実施 ・利用人数: 34,000人以上
		市内農業情報、地域情報を発信し、都市農業への理解が深まるよう取り組みます。	●農業者が開設する市民ファーム農園や農作業の指導を行う体験型農園の普及支援 ・市民ファーム農園や体験型農園の普及・運営支援の継続実施	・体験型農園:2農園閉園、計9農園 ・市民ファーム農園の開設:高津区に1農園、多摩区に1農園	●農業者が開設する市民ファーム農園や農作業の指導を行う体験型農園の普及支援 ・市民ファーム農園や体験型農園の普及・運営支援の継続実施
		環境配慮の考え方が定着することにより、市民・事業者・行政が協働して環境保全に取り組むことができるよう、教育プログラム、人材育成、情報発信を充実します。	●「環境教育・学習基本方針」に基づく環境教育の総合的な推進 ○市民活動団体、事業者等との協働・連携による環境教育の推進 ・環境教育の推進の継続実施 ●環境副読本作成による環境教育の充実 ・環境副読本(幼稚園、小・中学校用)の作成等の継続実施	・イベント等のチラシの配布、環境教育・学習関連の情報の市ホームページでの発信により、年間を通じて情報共有を図った。 ・小学4年生及び中学1年生に環境副読本を、幼稚園の新任教諭に「つながりのしむあそび集」を配布し、低年齢層への環境教育・学習の普及を図った。	●「環境教育・学習基本方針」に基づく環境教育の総合的な推進 ○市民活動団体、事業者等との協働・連携による環境教育の推進 ・環境教育の推進の継続実施 ●環境副読本作成による環境教育の充実 ・環境副読本(幼稚園、小・中学校用)の作成等の継続実施
		緑の基本計画において「緑と農の3大拠点」として位置付けられている黒川、岡上、早野地区において、緑や農に触れる機会の充実を図ります。	●岡上、早野地区の市民、大学、小学校との連携による保全活動・環境教育の取組の推進	黒川地区では、里山保全の体験イベントや竹あんどんづくりを実施するなど地元農業者と連携した取組を行った。また、岡上地区では岡上小学校で環境学習を実施した。	●岡上、早野地区の市民、大学、小学校との連携による保全活動・環境教育の取組の推進
		市民との協働により、環境学習や体験活動の取組を進め、さまざまな機会を通して多摩川の魅力を発信します。	●水辺の楽校の活動支援 ・活動支援の継続実施 ●ニヶ領せせらぎ館や大師河原水防センターによる情報発信拠点の取組の推進 ・情報発信の継続実施	●水辺の楽校の活動支援 市内3校で計35回開催した。 ●ニヶ領せせらぎ館や大師河原水防センターによる情報発信拠点の取組の推進 ・ニヶ領せせらぎ館入館者数24,977人 大師河原水防センター入館者数15,211人	●水辺の楽校の活動支援 ・活動支援の継続実施 ●ニヶ領せせらぎ館や大師河原水防センターによる情報発信拠点の取組の推進 ・情報発信の継続実施
		水環境保全の啓発のためのイベント等を開催します。	●水環境保全に係る普及啓発の推進 ○イベントの開催等の普及啓発の実施 ・イベント開催数:2回	・「夏休み水環境体験教室」を2回開催した。 ・夏休み多摩川教室に「川の中の生きものコーナー」を出展した。	●水環境保全に係る普及啓発の推進 ○イベントの開催等の普及啓発の実施 ・イベント開催数:2回
多摩川に生息する淡水魚等を多摩川総合庁舎アトリウムで飼育展示し、多摩川への愛着を深め、環境意識の啓発を図ります。	●季節に応じた魚類の展示パネルの掲出 ●水槽の維持管理	●多摩川総合庁舎1階アトリウムに設置した水槽2基の維持管理と季節に応じた魚類の展示パネルの掲出を行った。	●季節に応じた魚類の展示パネルの掲出 ●水槽の維持管理		

実施 策名 No.	実施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
8	緑の魅力の発掘及び 情報発信の推進	多様な媒体・ステークホルダーとの協働による情報発信を推進します。	●情報発信手法の検討、推進	紙媒体(緑のボランティア通信発行年5回)、電子媒体(HPやフェイスブック)、公園緑地愛愛護会等合同連絡会などの場で情報発信を行った。	●情報発信手法の検討、推進
		川崎の緑の分布を調査し、経年変化等の把握を図ります。	●自然的環境分布の調査	次回は令和3年度の調査(5年に1回)	●自然的環境分布の調査
		地域に息づく生き物の生育環境の保全、普及啓発などの取組を進めます。	●「生物多様性かわさき戦略」に基づく事業の推進 ●生物多様性の保全に関する普及啓発・体験学習の実施 ●「生物多様性かわさき戦略」の改定 ・調査・検討	・「生物多様性かわさき戦略」に基づく事業の推進 ・「かわさき生き物マップ」の運用 ・「生物多様性かわさき戦略」の改定に関する調査・検討	●「生物多様性かわさき戦略」に基づく事業の推進 ●生物多様性の保全に関する普及啓発・体験学習の実施 ●「生物多様性かわさき戦略」の改定 ・調査・検討
		緑地の実態調査を行い、緑地の現状の把握に努めます。	●緑地の実態調査、緑地保全カルテの更新	・緑地の実態調査、緑地保全カルテの更新を実施した。	●緑地の実態調査、緑地保全カルテの更新
		地球温暖化対策及びヒートアイランド現象に関するデータの収集・解析・研究等を行います。	●地球温暖化対策に関する調査研究の推進【(温室効果ガス排出量・気候変動)】括弧内削除希望 ●ヒートアイランド現象に関する調査研究の推進【(市内気温分布・熱中症)】括弧内削除希望 ●調査結果に関する情報発信	・気候変動に関する調査を実施した。 ・市内気温分布に関する調査を実施した。 ・熱中症救急搬送者数状況調査を実施した。 ・暑熱環境調査を実施した。	●地球温暖化対策に関する調査研究の推進【(温室効果ガス排出量・気候変動)】括弧内削除希望 ●ヒートアイランド現象に関する調査研究の推進【(市内気温分布・熱中症)】括弧内削除希望 ●調査結果に関する情報発信
		梅林の復活と地域コミュニティの活性化に向けた取組を「御幸公園梅香(うめかおる)事業推進計画」に基づき区民との協働で実施し、市制100周年に向けて、区の魅力向上を図ります。	●御幸の歴史・文化の伝承に向けた取組の推進 ○歴史文化に関する講演会の実施 ・実施回数:1回 ○梅の花や祭りの風景など梅に因んだ写真展の開催 ・実施回数:1回	●御幸の歴史・文化の伝承に向けた取組の推進 ○歴史文化に関する講演会の実施 ・実施回数:1回 ○梅の花や祭りの風景など梅に因んだ写真展の開催 ・実施回数:1回	●御幸の歴史・文化の伝承に向けた取組の推進 ○歴史文化に関する講演会の実施 ○梅の花や祭りの風景など梅に因んだ写真展の開催 ・実施回数:1回
自然や文化施設といった豊富な地域資源を活用し、多様な主体との協働により、区の魅力を内外に積極的に発信し、タウンイメージの向上と地域の活性化につながる取組を進め、住みよい、賑わいと魅力あるまちづくりを推進します。	●多様な地域主体と協働・連携した地域資源の魅力発信 ○観光ガイドブック、ガイドマップ等の作成 ・年1回更新・発行 ○広報物を活用した地域イベント等でのプロモーション活動 ・PRの継続実施 ○ホームページの充実、情報発信 ・随時情報更新、アプリの改修 ○区民によるガイドツアーの実施 ・開催回数:7回 ○関係各施設等との横断的取組による魅力発信 ・動画の活用によるPRの推進 ・魅力発信に向けた関係各施設等との検討 ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れたPR動画活用検討 ●「ピクニックタウン多摩区」をキーワードとしたまちの賑わいとタウンイメージの向上を図る取組の推進 ○ピクニックを楽しむことをテーマとした地域活性化イベント等の開催 ・地域資源を活用したイベント等の実施 ○SNSを活用した生田緑地、多摩川等で実施されるイベント情報の発信 ・情報の発信の継続実施 ●地域観光の活性化に向けた支援 ・地域行事・イベントの広報支援の継続実施 ●地域が主体となった都市間交流の実施 ・観光協会を通じた交流都市との交流の継続実施	●多様な地域主体と協働・連携した地域資源の魅力発信 ○観光ガイドブック、ガイドマップ等の作成 ・年1回更新・発行…各30,000部製作・発行した。 ○広報物を活用した地域イベント等でのプロモーション活動 ・区内各種イベントにおいて、観光ガイドブックを含む区の魅力PRにつながる広報物を配布を行った。 ○ホームページの充実、情報発信 ・観光協会ホームページの随時情報更新及びホームページのレスポンス化を行った。 ○区民によるガイドツアーの実施を年間13回実施した。 ○関係各施設等との横断的取組による魅力発信 ・インバウンドを意識した生田緑地の魅力向上につながる動画の作成(日・英・韓・中)を作成し、市内各モニター及び空港リムジンバスで放映を行った。 ●「ピクニックタウン多摩区」をキーワードとしたまちの賑わいとタウンイメージの向上を図る取組の推進 ○ピクニックを楽しむことをテーマとした地域活性化イベント等の実施のほか、緑化センター、生田緑地ゴルフ場等が主催するイベントに出展し、ピクニックタウン多摩区のPRを行った。 ○SNSを活用した生田緑地、多摩川等で実施されるイベント情報の発信 ・Facebookを活用した情報発信を行った。	●多様な地域主体と協働・連携した地域資源の魅力発信 ○観光ガイドブック、ガイドマップ等の作成 ・年1回更新・発行 ○広報物を活用した地域イベント等でのプロモーション活動 ・PRの継続実施 ○ホームページの充実、情報発信 ・随時情報更新 ○区民によるガイドツアーの実施 ・開催回数:7回 ○関係各施設等との横断的取組による魅力発信 ・動画の活用によるPRの推進 ・検討に基づいた事業等の実施 ●「ピクニックタウン多摩区」をキーワードとしたまちの賑わいとタウンイメージの向上を図る取組の推進 ○ピクニックを楽しむことをテーマとした地域活性化イベント等の実施 ・地域資源を活用したイベント等の実施 ○SNSを活用した生田緑地、多摩川等で実施されるイベント情報の発信 ・情報の発信の継続実施 ●地域観光の活性化に向けた支援 ・地域行事・イベントの広報支援の継続実施 ●地域が主体となった都市間交流の実施 ・観光協会を通じた交流都市との交流の継続実施		
観光ガイドブックの改訂、観光写真コンクール及び禅寺丸柿のPRなどにより、区の魅力を発信し、区のイメージアップや地域の活性化を促進します。	●区の観光資源の魅力発信 ・観光写真コンクールの開催 ・応募者数の拡大及び優秀作品の更なる活用の検討 ●「禅寺丸柿の日」イベントの開催 ○麻生観光協会との協働による柿もぎ体験等のイベントの開催 ・開催回数:2回 ●麻生観光協会等と連携した区の花「ヤマユリ」の広報活動の実施 ・HP等を活用したPRの継続実施	・観光写真コンクール 応募者数 60名(応募数150点) ・応募者拡充のため、区HPビジュアルエリアでの広報を新たに実施 ・令和元年度発行の麻生区ガイドマップ、麻生観光ガイドブックへ写真コンクール優秀作品の掲載決定 ・禅寺丸柿の柿もぎ体験 10月6日 参加者:30名(申込115名) ・区役所ロビーでの禅寺丸柿の作品展示 10月15日~22日 ・麻生観光協会HPおよび観光写真コンクールのポスター等にヤマユリを掲載するなど、PRを継続実施	●区の観光資源の魅力発信 ・観光ガイドブックの改訂・発行 ・検討結果を踏まえた広報の実施 ●「禅寺丸柿の日」イベントの開催 ○麻生観光協会との協働による柿もぎ体験等のイベントの開催 ・開催回数:2回 ●麻生観光協会等と連携した区の花「ヤマユリ」の広報活動の実施 ・HP等を活用したPRの継続実施		
9	人材の交流、連携の 推進	市民・事業者・行政からなる「環境パートナーシップかわさき」の開催により、環境問題対策の協議や情報交換等を通じて、地域における環境保全活動を促進します。	●環境パートナーシップかわさき活動の支援	第9期の活動として、各グループごとに設定したテーマについて、視察や調査を行うとともに、全体会で情報共有を行った。	●環境パートナーシップかわさき活動の支援
		公益財団法人川崎市公園緑地協会の「緑のボランティアセンター」の運営を支援し、緑のボランティアの交流促進を進めます。	●緑のボランティア交流イベントの開催	交流促進として活動団体の交流イベント(花壇編、里山編)を実施し、計260名が参加した。	●緑のボランティア交流イベントの開催

実施 施策 No.	実施施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
10	多様な機能を発揮する樹林地の保全	緑地保全の推進により、市域の都市景観の向上、地球温暖化対策、生物多様性の保全等を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●特別緑地保全地区等の緑地保全に向けた取組の推進 ・現状等調査、地権者交渉 ●特別緑地保全地区における買入れ申出に伴う土地の取得 ・土地取得の継続実施 ●企業や教育機関等の参加による保全活動の実施 ・保全活動の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業や教育機関と協働し、特別緑地保全地区で継続的な竹林整備など保全管理活動を実施(H30年度末時点:5企業等が参画) ・特別緑地保全地区の指定 1.9ha ・緑地保全協定地の新規指定及び協定締結 0.21ha ・特別緑地保全地区の用地取得 3.0ha ・黒川海道特別緑地保全地区の園路等の施設整備を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●特別緑地保全地区等の緑地保全に向けた取組の推進 ・現状等調査、地権者交渉 ●特別緑地保全地区における買入れ申出に伴う土地の取得 ・土地取得の継続実施 ●企業や教育機関等の参加による保全活動の実施 ・保全活動の継続実施
		地権者の協力を得て良好な樹林地を借り受け、散策路やベンチなどを設けて自然とふれあえる憩いの場として整備を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「ふれあいの森」の設置、利便施設等の整備 	・実績なし	●「ふれあいの森」の設置、利便施設等の整備
11	地域に残された身近な緑の継承	地域に残る貴重な樹木・樹林等の維持、保全を進めます。	●保存樹等の協定の締結、まちの樹の維持保全	<ul style="list-style-type: none"> ・保存樹木の継承(協定更新19本・平成30年度末時点854本) ・保存樹林の継承(協定更新5件・平成30年度末時点44,809㎡) ・まちの樹の継承(協定更新なし・平成30年度末時点46本) ・保存生垣の継承(協定更新6件・平成30年度末時点41箇所) 	●保存樹等の協定の締結、まちの樹の維持保全
12	開発事業等における樹林地の保全、回復、創出	自然的環境保全配慮書は、事業者が対象事業区域内の自然的環境を把握し、その保全等に関する考え方を示し、具体的な事業計画の立案に反映させることにより、緑豊かなまちづくりを目指すものです。	●自然的環境の保全に関する配慮の方針への保全、回復、創出に関する助言指導の実施	・条例、指針に基づく助言・指導を実施した。	●自然的環境の保全に関する配慮の方針への保全、回復、創出に関する助言指導の実施
13	保全された樹林地の適切な管理と持続的な取組	市民等との協働により緑地保全計画を作成し、植生管理など保全緑地の適正な管理を進めます。	●市民等とのワークショップによる保全管理計画の策定及び計画書の適宜見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・高石特別緑地保全地区において保全活動団体等とのワークショップにより、保全管理計画を策定した。 ・かわさき里山コラボに参画している富士通株式会社等とのワークショップにより、栗木山王山特別緑地保全地区の保全管理計画を更新した。 	●市民等とのワークショップによる保全管理計画の策定及び計画書の適宜見直し
		公有地化した保全緑地の安全性確保に向けた取組を進めます。	●斜面地の安全対策などの設計・整備	・菅馬場谷特別緑地保全地区の斜面整備を実施した。	●斜面地の安全対策などの設計・整備
14	緑と調和した都市景観の形成	景観法に基づく「景観計画特定地区」の指定や、「都市景観条例」に基づく「都市景観形成地区」等により、個性と魅力にあふれた良好な街なみ形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「都市景観形成地区」における市民による地域特性に応じた良好な街なみづくりの促進 ・市民への支援の継続実施 ●景観施策の情報提供・啓発活動の実施 ・景観まちづくり意識普及イベントの開催 ●「景観計画」の改定及び計画に基づく取組の推進 ・計画改定 ・都市景観審議会と屋外広告物審議会の統合等による事務の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市景観形成地区」における市民による地域特性に応じた良好な街なみづくりの支援・促進 ・景観まちづくり意識普及イベントによる景観施策の情報提供・啓発活動の実施 ・「川崎市景観計画」の改定に向けた景観形成基準、景観重要樹木及び屋外広告物等に係る調査検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●「都市景観形成地区」における市民による地域特性に応じた良好な街なみづくりの促進 ・市民への支援の継続実施 ●景観施策の情報提供・啓発活動の実施 ・景観まちづくり意識普及イベントの開催 ●「景観計画」の改定及び計画に基づく取組の推進 ・計画に基づく取組の推進 ・都市景観審議会と屋外広告物審議会の統合等による事務の効率化
		保全緑地や樹林地などについて、市民協働の手法を取り入れながら、植生管理や安全管理など適正な管理を進めます。	●保全緑地の老朽化施設等の補修・更新	・小沢城址緑地内案内看板の補修・更新	●保全緑地の老朽化施設等の補修・更新
15	多摩川緑地施設の利便性向上	多摩川河川敷の運動施設や利便施設の再整備、利用のマネーアップに取り組むなど、多摩川が市民に身近な存在になるよう魅力向上の取組を進めるとともに、多摩川を活かしたレクリエーションやイベント等の取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩川河川敷の運動施設等の整備 ○施設の再整備 ・上平間球場、テニスコート、ゲートボール場 ○サイクリングコースの延伸整備 ・布田橋 ●多摩川の魅力を活かす取組の推進 ○民間活力導入による取組の推進 ・多摩川緑地バーベキュー広場(二子橋)の適正な運営 ・賑わい創出に向けた取組の推進 ・利用環境向上に向けた取組の推進 ○イベント等(川崎国際多摩川マラソン、水辺の安全教室、シンポジウムなど)による魅力向上に向けた取組の推進 ・取組継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩川河川敷の運動施設等の整備 ・上平間・古市場地区のテニスコート、ゲートボール場の整備を実施した。 ・サイクリングコースの延伸に係る橋梁整備及び拡幅整備を実施した。 ●多摩川の魅力を活かす取組の推進 ・多摩川緑地パークボール場・多摩川緑地バーベキュー広場(二子橋)の適正な管理を実施した。 ・川崎国際多摩川マラソン、多摩川で和む体験、水辺の安全教室などによる魅力向上に向けたイベントを実施した。 ●その他 ・多摩川プラン推進会議を2回実施した。 ・丸子橋地区のバーベキューのマネーアップ及びサイクリングコースのマネーアップキャンペーンを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩川河川敷の運動施設等の整備 ○施設の再整備 ・上平間多目的広場、古市場多目的広場 ○サイクリングコースの延伸整備 ・港町地区 ●多摩川の魅力を活かす取組の推進 ○民間活力導入による取組の推進 ・多摩川緑地バーベキュー広場(二子橋)の適正な運営 ・賑わい創出に向けた取組の推進 ・利用環境向上に向けた取組の推進 ○イベント等(川崎国際多摩川マラソン、水辺の安全教室、シンポジウムなど)による魅力向上に向けた取組の推進 ・取組継続実施
		多摩川河川敷を快適に利用できるよう、施設の補修や清掃など、良好な維持管理を進めます。	●多摩川河川敷の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易水洗トイレを2基整備した。 ・マラソンコースの補修を行った。 ・丸子橋硬式野球場グラウンド補修工事を実施した。 	●多摩川河川敷の維持管理
16	多摩川緑地の適切な管理と持続的な取組	多摩川河川敷の緑化や美化活動を進め、多摩川の優れた景観の保全・創出を図ります。	●稲田堤、ニヶ領用水、等々力、大師橋、殿町周辺地区などの桜並木の保全・復活	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈りや清掃を適宜実施した。 ・等々力地区などの桜並木の保全を行った。 ・殿町地区にベンチ一体型のウッドデッキを整備した。 ・多摩川美化活動を実施した。 	●稲田堤、ニヶ領用水、等々力、大師橋、殿町周辺地区などの桜並木の保全・復活
		多摩川河川敷の緑化や美化活動を進め、多摩川の優れた景観の保全・創出を図ります。	●多摩川景観形成ガイドラインによる景観の誘導	●殿町3丁目地区まちづくりガイドラインによる景観の誘導	●多摩川景観形成ガイドラインによる景観の誘導
			●多摩川美化活動の推進	●多摩川美化活動の推進	●多摩川美化活動の推進

実施 策名 No.	実施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
17	公園緑地の防災機能整備推進	広域避難場所や幹線道路沿いなどの公園において、ソーラー照明灯や避難誘導標識などの防災関連施設を整備し、防災機能の向上を図ります。	●帰宅困難者対策の取組の推進 ○ソーラー照明灯、案内板の整備 ・池上新町公園、平間公園	・ソーラー照明灯、案内板の整備(池上新町公園)	●帰宅困難者対策の取組の推進 ○ソーラー照明灯、案内板の整備 ・橋公園
		「富士見公園」の施設の再編整備時に、防災機能の導入に向けた取組を推進します。	●防災機能導入の検討	・防災機能導入の検討	●防災機能導入の検討
		等々力緑地の再編整備時に、防災機能の導入に向けた取組を推進します。	●防災機能導入の検討	災害時に消防の活動拠点となる硬式野球場の整備に取り組んだ。	●防災機能導入の検討
		生田緑地の整備において、防災機能の導入に向けた取組を推進します。	●防災機能導入の検討	・「生田緑地整備の考え方」をとりまとめた中で防災機能について調整した。	●防災機能導入の検討
		公園の再整備時に、防災機能の導入に向けた取組を推進します。	●防災機能導入の検討	・防災機能導入の検討	●防災機能導入の検討
		幹線道路等の街路樹の健全性を保ち、防災に資する緑のネットワークの形成に努めます。	●街路樹の適正な維持管理の実施	街路樹の撤去及び更新の実施 ・宮前区(鷺沼線) ・多摩区(寺尾台22号線)	●街路樹の適正な維持管理の実施
18	地域特性に応じた特色のある公園緑地の整備推進	都心における総合公園である「富士見公園」の機能回復を図り、施設の再編整備を進めます。	●富士見公園再編整備に向けた取組の推進 ・「基本計画」策定に向けた検討 ・園路等の施設整備 ●更なる民間活力導入に向けた取組の推進 ・検討結果に基づく調査	富士見公園再編整備に向けた取組の推進 ・「基本計画」策定に向けた庁内関係者による検討会議の実施 更なる民間活力導入に向けた取組の推進 ・関係課と連携し各種取組を実施した。	●富士見公園再編整備に向けた取組の推進 ・「富士見公園再編整備基本計画」の策定 ・園路等の施設整備 ●更なる民間活力導入に向けた取組の推進 ・導入に向けた取組の推進
		緑やスポーツ・レクリエーションの拠点である等々力緑地について、小杉駅周辺のまちづくりと連携した施設の再編整備を進めます。	●等々力緑地再編整備の推進 ○陸上競技場第2期整備に向けた取組の推進 ・基本計画策定 ○硬式野球場整備の推進 ・整備推進 ○中央広場等の整備に向けた取組の推進 ・調査検討 ●民間活力導入に向けた取組の推進 ・調査結果に基づく導入検討 ●東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプに向けた取組の推進 ・陸上競技場改修	・陸上競技場第2期整備に向けて、劣化調査などの与条件整理を行った。 ・硬式野球場については、令和2年度の完成に向けて整備に取り組んだ。 ・民間活力導入の検討とあわせて、中央広場等の整備に向けた調査検討を行った。 ・民間活力の効果的な活用を検討するため、マーケットサウンディングを実施した。 ・英国オリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプ受入れに向けて、等々力陸上競技場の改修を行った。	●等々力緑地再編整備の推進 ○陸上競技場第2期整備に向けた取組の推進 ・基本設計 ○硬式野球場整備の推進 ・整備推進 ○中央広場等の整備に向けた取組の推進 ・調査検討 ●民間活力導入に向けた取組の推進 ・導入に向けた取組の推進 ●東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプに向けた取組の推進 ・補助競技場改修
		本市最大の緑の拠点である生田緑地を、自然環境を活かした総合公園として整備を進めます。	●東生田2丁目地区の基本方針に基づく取組の推進 ・方針策定 ●更なる民間活力導入に向けた取組の推進 ・検討実施	・東生田2丁目地区の基本方針を「生田緑地整備の考え方」の中でとりまとめた。 ・向ヶ丘遊園跡地の整備に向けた調整をした。	●東生田2丁目地区の基本方針に基づく取組の推進 ・方針に基づく取組の推進 ●更なる民間活力導入に向けた取組の推進 ・検討実施
		老朽化の進んだ公園の再整備の取組により、特色ある公園の整備を進めます。	●公園の再整備等による特色ある公園づくりの推進	・実績なし	●公園の再整備等による特色ある公園づくりの推進
		宮前区市民健康の森である菅生緑地の園路や広場等の施設整備を進め、緑地内の自然環境の保全等を図ります。	●整備および緑地内の自然環境の保全等に向けた取組の推進	・H28年度取得用地の暫定整備	●整備および緑地内の自然環境の保全等に向けた取組の推進
		市営霊園において、安定した墓所供給や適切な管理運営を進めます。	●市営霊園整備に向けた取組の推進 ・有縁葬型墓所の整備、整備完了(緑ヶ丘霊園) ・個別墓所の整備(早野聖地公園) ●無縁改葬の推進と墓所再募集の取組の推進	●緑ヶ丘霊園:合葬型墓所の整備(H30.3完了) ●早野聖地公園:個別型墓所整備(計104箇所) ●無縁改葬に関する取組フォロー案等の作成及び既存墓所の墓じまい箇所における墓所再募集の取組の推進(計70箇所)	●市営霊園整備に向けた取組の推進 ・個別墓所の整備(早野聖地公園) ●無縁改葬の推進と墓所再募集の取組の推進
		夢見ヶ崎動物公園基本計画に基づき、公園の魅力創出に向けた取組を進めます。	●公園や地域のにぎわい創出に向けた取組の推進 ○施設整備に向けた取組の推進 ・再整備及び民間活力導入に向けた検討	・公民連携可能性調査を実施した。	●公園や地域のにぎわい創出に向けた取組の推進 ○施設整備に向けた取組の推進 ・再整備及び民間活力導入に向けた検討
		都市計画決定後、長期間未整備の公園緑地について、事業計画の見直しや区域の変更などの検討を進めます。	●都市計画変更等による事業計画の見直し	・古川公園の廃止に向けた検討	●都市計画変更等による事業計画の見直し
19	身近な公園の整備推進	歩いて行ける範囲に街区公園などの身近な公園の整備を進めます。	●身近な公園の整備の実施 ・(仮称)神明町公園の実施設計	・(仮称)神明町公園の実施設計	●身近な公園の整備の実施 ・(仮称)神明町公園の整備
		都市計画法等関係法令に基づき設置される公園等に関する協議を行い、緑豊かなまちづくりを進めます。	●都市計画法に基づく開発行為や建築及び開発行為に関する総合調整条例等に基づき設置される公園等に関する協議を実施し、公園等の整備を推進	法令等に基づき、協議・指導を継続して実施した。	●都市計画法に基づく開発行為や建築及び開発行為に関する総合調整条例等に基づき設置される公園等に関する協議を実施し、公園等の整備を推進
20	安全安心な公園緑地づくりに向けた管理と機能の充実	市民が安全かつ快適に公園緑地を利用できるよう、除草や清掃等を行い、施設の適切な維持管理を進めます。	●樹木の剪定など公園緑地の維持管理 ●遊具など公園施設の補修・更新 ●公園灯など電気施設の維持管理	・各区道路公園センターと管理手法等の協議・調整を行い、適切な維持管理を実施	●樹木の剪定など公園緑地の維持管理 ●遊具など公園施設の補修・更新 ●公園灯など電気施設の維持管理
		長寿命化の取組により、遊具などの公園施設の効果的な維持管理を進めます。	●長寿命化計画に基づく取組の推進 ・公園施設の設計・整備(虹ヶ丘南公園ほか12公園)	・若草第1公園ほか14公園において長寿命化計画に基づき遊具などを更新	●長寿命化計画に基づく取組の推進 ・公園施設の設計・整備(三田第一公園ほか11公園)
		公園のバリアフリー化などの取組により、安心安全な公園利用を促進します。	●バリアフリー整備の実施 ・鷺沼公園及び上麻生隠れ谷公園 ●防犯機能を有する施設管理用カメラの設置 ・施設管理用カメラ設置の推進	バリアフリー整備の実施 ・鷺沼公園及び上麻生隠れ谷公園	●バリアフリー整備の実施 ・バリアフリー化に向けた取組の推進 ●防犯機能を有する施設管理用カメラの設置 ・施設管理用カメラ設置の推進
		公園緑地の適正管理に向けて、管理主体である各区役所道路公園センターと連携し、許認可業務、運動施設等の利用調整及び財産管理を適切に実施します。	●公園内有料施設の適正管理 ●不法占拠解消に向けた取組 ●許認可事務の適正執行	・運動施設等の利用調整及び財産管理を適切に実施	●公園内有料施設の適正管理 ●不法占拠解消に向けた取組 ●許認可事務の適正執行
		公園で発生した資源を利用した生物多様性の確保の取組や、発生した緑を資源に活用する活動などを推進します。	●発生材を活かした取組の推進(保全管理活動で伐採した竹を夢見ヶ崎動物公園の動物の餌として活用)	・竹林の整備の発生材活用と竹林管理の意識啓発を行うことを目的に、黒川竹行燈の会と連携し、竹を使ったワークショップ(竹あんどん等)を開催した。 ・里山保全活動で発生する竹葉の動物園飼育動物の餌として活用の試行。	●発生材を活かした取組の推進(保全管理活動で伐採した竹を夢見ヶ崎動物公園の動物の餌として活用)
		港湾緑地の適正な維持管理を行い、良好な港湾環境の形成を図ります。	●港湾緑地の適正な維持管理と管理手法の検討	東扇島中公園の指定管理者制度移行に向けた所要の手続きを推進 兼用式草刈機の導入による経費削減と作業の効率化	●港湾緑地の適正な維持管理と管理手法の検討
21	多面的な機能を有する都市農地の保全・活用	良好な農環境を保全し、多面的な機能を有する農地の保全・活用を図ります。	●生産緑地地区の指定の推進による都市農地の保全 ・特定生産緑地制度の周知及び指定の推進 ・状況調査の実施 ●大震災時に一時避難所として利用される市民防災農地の確保 ・市民防災農地の登録の推進の継続実施 ●里地里山用地的整備・管理、里地里山等利活用実践活動による人材育成 ○里地里山・農業ボランティア育成講習の開催 ・開催数:45回以上 ●グリーン・ツーリズムの普及・啓発の推進 ・ホームページ等による情報発信の継続実施	●生産緑地 ・新規追加指定・拡大箇所 42箇所 ・特定生産緑地指定に向けた準備 ●市民防災農地 ・78.8ha、518箇所(H31.1.1現在)20箇所増、2.7ha増 ●里地里山等利活用実践活動による人材育成としての農業ボランティア育成講習の開催:45回 ●大型農産物直売所「せれサモス」内の農業情報センターにおける、都市農業の振興に資するイベント等の実施:64回	●生産緑地地区の指定の推進による都市農地の保全 ・特定生産緑地制度の周知及び指定の推進 ●大震災時に一時避難所として利用される市民防災農地の確保 ・市民防災農地の登録の推進の継続実施 ●里地里山用地的整備・管理、里地里山等利活用実践活動による人材育成 ○里地里山・農業ボランティア育成講習の開催 ・開催数:45回以上 ●グリーン・ツーリズムの普及・啓発の推進 ・ホームページ等による情報発信の継続実施

実施 策名 No.	実施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
22	持続的な営農に向けた「農」への参加と理解の促進	「農」にふれあいたいとする市民ニーズに応えると共に、市民の都市農業への理解促進を目的として、かわさき地産地消推進協議会を主体とした各種「農」イベントや花と緑の市民フェアの開催などにより、市民が「農」を知る機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が「農」にふれる場としてのイベント「花と緑の市民フェア」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ○花の品評会や植木等の即売会等により市民が花と緑に親しむ「花と緑の市民フェア」の開催 ・来場者数:50,000人以上 ●「かわさき地産地消推進協議会」を主体とした地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売会の開催:9回以上 ・料理教室の開催:2回以上 ・「かわさき地産地消推進協議会」の開催:3回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ●花と緑の市民フェア:5月26日～27日開催 <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数:45,000人 ●地産地消のイベントや料理教室等の実施による地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売会の開催:12回 ・「かわさき地産地消推進協議会」の開催:2回 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が「農」にふれる場としてのイベント「花と緑の市民フェア」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ○花の品評会や植木等の即売会等により市民が花と緑に親しむ「花と緑の市民フェア」の開催 ・来場者数:50,000人以上 ●「かわさき地産地消推進協議会」を主体とした地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売会の開催:9回以上 ・料理教室の開催:2回以上 ・「かわさき地産地消推進協議会」の開催:3回以上
		農作物の生産技術の向上に向けた支援や、農業経営の効率化・安定化のための支援を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物の栽培技術向上のための取組 <ul style="list-style-type: none"> ・各種試験研究、農産物等の実証栽培の継続実施 ●生産者向け講習会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○「環境保全型農業技術講習会」などの講習会等の開催 ・開催数:145回以上 ●経験の浅い農業者を主な対象とした講習会等の技術指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○講習会等を通じた技術指導の促進 ・開催数:10回以上 ●「環境保全型農業推進方針」に基づく環境保全型農業の普及推進 <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業の普及に向けた取組の推進の継続実施 ●農業用施設の整備、農業機械等の共同購入に対する助成 <ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設の整備、農業機械等の共同購入に対する助成の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物の栽培技術向上のための取組 <ul style="list-style-type: none"> ・各種試験研究、農産物等の実証栽培の継続実施 ●生産者向け講習会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○「環境保全型農業技術講習会」などの講習会等の開催 ・開催数:145回以上 ●経験の浅い農業者を主な対象とした講習会等の技術指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○講習会等を通じた技術指導の促進 ・開催数:10回以上 ●「環境保全型農業推進方針」に基づく環境保全型農業の普及推進 <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業の普及に向けた取組の推進の継続実施 ●農業用施設の整備、農業機械等の共同購入に対する助成 <ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設の整備、農業機械等の共同購入に対する助成の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物の栽培技術向上のための取組 <ul style="list-style-type: none"> ・各種試験研究、農産物等の実証栽培の継続実施 ●生産者向け講習会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○「環境保全型農業技術講習会」などの講習会等の開催 ・開催数:145回以上 ●経験の浅い農業者を主な対象とした講習会等の技術指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○講習会等を通じた技術指導の促進 ・開催数:10回以上 ●「環境保全型農業推進方針」に基づく環境保全型農業の普及推進 <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業の普及に向けた取組の推進の継続実施 ●農業用施設の整備、農業機械等の共同購入に対する助成 <ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設の整備、農業機械等の共同購入に対する助成の継続実施
		市民が「農」にふれる場づくりを推進するため、川崎市市民農園の管理運営を行うとともに、農業者が開設する市民ファーム農園や農作業の指導を行う体験型農園について制度の普及・啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●市が開設から運営まで行う市民農園の効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ○管理運営及び定期的な利用者の募集 ・運営数:5農園 ●従来型の市民農園から利用者組合が管理運営を行う地域交流農園への円滑な移行に向けた調整 <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流農園への移行に伴う調整の継続実施 ●市民と地域の交流の場としての地域交流農園の普及支援 <ul style="list-style-type: none"> ○普及・運営支援及び利用者の募集 ・支援数:1農園 ●農業者が開設する市民ファーム農園や農作業の指導を行う体験型農園の普及支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市民ファーム農園や体験型農園の普及・運営支援の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●市開設型市民農園(川崎市市民農園5、地域交流農園1)の維持:6農園 	<ul style="list-style-type: none"> ●市が開設から運営まで行う市民農園の効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ○管理運営及び定期的な利用者の募集 ・運営数:4農園 ●従来型の市民農園から利用者組合が管理運営を行う地域交流農園への円滑な移行に向けた調整 <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流農園への移行に伴う調整の継続実施 ●市民と地域の交流の場としての地域交流農園の普及支援 <ul style="list-style-type: none"> ○普及・運営支援及び利用者の募集 ・支援数:2農園 ●農業者が開設する市民ファーム農園や農作業の指導を行う体験型農園の普及支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市民ファーム農園や体験型農園の普及・運営支援の継続実施
		橘地区の農産物資源を活用した取組を区民主体で行うことにより、地域の活性化やふるさと意識の醸成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物と区民の協働による食と農の地域資源を発見する活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○農産物直売所等を紹介する「おさんぼマップ」を活用した地域の魅力発信 ・「おさんぼマップ」年1回更新・発行 ●地産地消と子どもの食育を結び農のある風景と暮らしを次世代に伝える活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○小学生や未就学児の親子等を対象とした農体験イベントの実施 ・実施回数:2回 ●市民パワーによる地域資源の活性化・ネットワーク化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○地場農産物の販売を通じた農産者と区民との交流を図る「高津さんの市」の開催 ・効果的な開催方法等の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物と区民の協働による食と農の地域資源を発見する活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○農産物直売所等を紹介する「おさんぼマップ」を活用した地域の魅力発信 ・平成31年3月に更新・発行 ●地産地消と子どもの食育を結び農のある風景と暮らしを次世代に伝える活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○小学生や未就学児の親子等を対象とした農体験イベントの実施 ・7月7日、8月1日に渋谷農園にて実施(2回) ●市民パワーによる地域資源の活性化・ネットワーク化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○地場農産物の販売を通じた農産者と区民との交流を図る「高津さんの市」の開催 ・偶数月の第3日曜日に実施(6回) ・他主催の地域イベントに出展する「出張さんの市」の実施(9回) 	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物と区民の協働による食と農の地域資源を発見する活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○農産物直売所等を紹介する「おさんぼマップ」を活用した地域の魅力発信 ・「おさんぼマップ」年1回更新・発行 ●地産地消と子どもの食育を結び農のある風景と暮らしを次世代に伝える活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○小学生や未就学児の親子等を対象とした農体験イベントの実施 ・実施回数:2回 ●市民パワーによる地域資源の活性化・ネットワーク化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○地場農産物の販売を通じた農産者と区民との交流を図る「高津さんの市」の開催 ・効果的な開催方法等の検討・実施
		市民の農業理解が向上し、本市農業を応援する市民が増え、農産物の営農環境が改善することを旨とします。多様な主体との連携を図る中で、発信対象を明確にした効果的で積極的な情報発信を行うことで、市内農業や市内産農産物、さらには農地の持つ多面的な機能について、PRを図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページやメールマガジン等による「農」情報の発信 ●情報発信等による市民の農業理解促進に向けた取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページやメールマガジン等による「農」に関する情報発信を行い、「農」に関するPRを行った。 ・市民向け情報誌「菜果ちゃんNEWS」を年1回発行した他、花と緑の市民フェアやかわさき市民まつりにおいて、「農」に関する広報を行い、農業理解促進に向けてPRを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページやメールマガジン等による「農」情報の発信 ●情報発信等による市民の農業理解促進に向けた取組の実施
		中学校給食において市内産農産物の活用を図るなど、学校給食を通じて、子どもたちに生産者等への感謝の心を育むとともに、地域の理解を深めることで、食育の一層の推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎らしい特色ある「健康給食」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○食材や味付けにこだわった、健康的で、美味しい給食の提供 ・給食提供の継続実施 ○JAせし川崎との連携による「かわさきそだち」の野菜の使用 ・「かわさきそだち」を使用した給食提供の継続実施 ●小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食を活用したさらなる食育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校給食においては、JAせしと連携し、月1回程度、市内産農産物を使用した給食を実施した。また、小学校等給食においては、自校献立日に地域で収穫された農産物を使用した給食を実施した。実施に当たっては、家庭配布献立表等を活用し、市内産農産物の使用について周知を図った。 ●学校と地域の生産者等とが連携し、出前授業や栽培・収穫体験等の農を通じた食育に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎らしい特色ある「健康給食」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○食材や味付けにこだわった、健康的で、美味しい給食の提供 ・給食提供の継続実施 ○JAせし川崎との連携による「かわさきそだち」の野菜の使用 ・「かわさきそだち」を使用した給食提供の継続実施 ●小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食を活用したさらなる食育の充実

実施施策No.	実施施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
23	地球環境に配慮した緑化活動の推進	共同住宅、事業所や公共施設等の建築の際は、地域、景観、生物多様性に配慮した緑化に努め、緑豊かなまちづくりを進めます。	●川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例に基づき、共同住宅、事業所や公共施設等の建築の際に地域、景観、生物多様性に配慮した緑化に関する協議を実施	法令等に基づき、協議・指導を継続して実施した。	●川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例に基づき、共同住宅、事業所や公共施設等の建築の際に地域、景観、生物多様性に配慮した緑化に関する協議を実施
		市民、事業者発意の緑化を促進し、環境の改善、景観向上に向けたまちづくりを進めます。	●地域緑化推進地区の認定・支援 ・地区の認定(年 新規2地区)と花苗等支援 ●緑化推進重点地区の取組の推進 ・新百合ヶ丘重点地区計画改定	・地域緑化推進地区の緑化推進及び公園緑地協会を通じた緑の活動団体による緑化の推進、区役所地域振興課による地元自治会等への花苗の種の提供等を実施した。 ・緑化推進重点地区については、新百合ヶ丘重点地区計画を改定した。	●地域緑化推進地区の認定・支援 ・地区の認定(年 新規2地区)と花苗等支援 ●緑化推進重点地区の取組の推進 ・新百合ヶ丘重点地区改定計画に基づく緑化の推進 ・川崎駅周辺重点地区計画の検証・課題抽出
		「区の花」「区の木」を活用して、区のイメージアップ、地域緑化を推進します。	●区の花「ピオラ」「ひまわり」、区の木「銀杏」「長十郎梨」を活用した取組 ・「区の花「ピオラ」「ひまわり」の植栽・配布」の継続実施 ・「区の木「銀杏」PRイベントの実施」の継続実施 ・「ロゴマークを活用した取組の推進」の継続実施	・富士見公園内植栽・関係団体への配布実施 ・富士見公園イベントにて銀杏の配布等の実施 ・富士見公園にてロゴマークを活用したイベントの実施	●区の花「ピオラ」「ひまわり」、区の木「銀杏」「長十郎梨」を活用した取組 ・「区の花「ピオラ」「ひまわり」の植栽・配布」の継続実施 ・「区の木「銀杏」PRイベントの実施」の継続実施 ・「ロゴマークを活用した取組の推進」の継続実施
		県立川崎高校の養蜂活動を地域緑化推進の視点から支援し、区のイメージアップと魅力の向上を図ります。	●地域緑化推進に向けた養蜂活動を周知するための学校等と連携したイベント(かわさきハニーフェスタ)の開催 ・一層の地域緑化推進に向けた効果的連携手法等の検討・イベント実施 ●採取したハチミツの効果的な活用によるイメージアップの推進 ・ハチミツを使った製菓を活用した取組の推進	・地域住民を対象にかわさきハニーフェスタを開催し、地域緑化推進に向けた養蜂活動を周知した。 ・ハチミツを使った製菓を配布し、イメージアップの推進を図った。	●地域緑化推進に向けた養蜂活動を周知するための学校等と連携したイベント(かわさきハニーフェスタ)の開催 ・一層の地域緑化に資するイベントの展開 ●採取したハチミツの効果的な活用によるイメージアップの推進 ・ハチミツを使った製菓を活用した取組の推進
		「四季の庭たじま」でのガーデニング講座開催や、草花の手入れをしながらの見守り活動の普及により、地域緑化の推進と区民の見守り意識の醸成を図ります。	●「四季の庭たじま」での地域緑化の推進 ○「四季の庭たじま」でのガーデニング講座等の開催 ・講座開催回数:1回 ・参加人数:45人程度 ●児童の登下校に合わせた草花を手入れしながらの見守り活動(ハニカム見守り運動)の実施 ・「ハニカム見守り運動」の実施及び実施エリアの拡大	●「四季の庭たじま」での地域緑化の推進 ○「四季の庭たじま」でのガーデニング講座等の開催 ・講座開催回数:2回(午前・午後)実施 ・参加人数:43人 ●児童の登下校に合わせた草花を手入れしながらの見守り活動(ハニカム見守り運動)の実施 ・実施地区として、2地区が参加した。	●「四季の庭たじま」での地域緑化の推進 ○「四季の庭たじま」でのガーデニング講座等の開催 ・講座開催回数:1回 ・参加人数:45人程度 ●児童の登下校に合わせた草花を手入れしながらの見守り活動(ハニカム見守り運動)の実施 ・「ハニカム見守り運動」の実施及び実施エリアの拡大
		幸区誕生40周年を記念して制定した、区の木・区の花(ハナミズキ・ヤマブキ)を区民に広く周知します。	●地域への愛着を深める広報イベントの実施 ●区の木・花の植樹 ●啓発物品の作成	●3月20日と24日に幸高等学校・夢見ヶ崎動物公園にて啓発イベントを実施。来場者の一部に啓発物品を配布したりタペストリーを用いてPRを行った。 ●幸高等学校にハナミズキ4本とヤマブキ40株をイベントと連携して植樹を行った。	●地域への愛着を深める広報イベントの実施 ●区の木・花の植樹 ●啓発物品の作成
		区内の緑化推進と区民の緑化意識の高揚を図るとともに、区民同士の交流を促進するため、花と緑のうらおいあるまちづくりを推進します。	●区内の緑化推進 ○地域の緑化活動団体と連携した「区役所前花いっぱい事業」の実施 ・実施回数:2回 ○花苗の配布等を通じた緑化活動団体への支援の実施 ・花苗の配布の実施 ●公共花壇等の花植活動の推進 ○緑化活動団体と連携した花植活動及び維持管理の実施 ・花壇等の維持管理の実施(月1回)	●区内の緑化推進 ・区民ボランティアグループ「さいわい花クラブ実行委員会」を中心とした区民の参加と協働による公共空間の緑化活動や緑化活動団体の支援による、区民の緑化意識の高揚と緑化空間づくりの推進 ・緑化活動団体に対して、花苗等の提供を2回実施 ●公共花壇等の花植活動の推進 ・夢見ヶ崎動物公園内の花壇において、近隣小学校4校と市民活動団体「さいわい加瀬山の会」との協働で花植えを2回実施 ・公共花壇(大師堀)において、小学校・中学校と連携した花植えを2回実施	●区内の緑化推進 ○地域の緑化活動団体と連携した「区役所前花いっぱい事業」の実施 ・実施回数:2回 ○花苗の配布等を通じた緑化活動団体への支援の実施 ・花苗の配布の実施 ●公共花壇等の花植活動の推進 ○緑化活動団体と連携した花植活動及び維持管理の実施 ・花壇等の維持管理の実施(月1回)
		花や緑を活用し住み続けたいと思うまちづくりを推進します。	●区民ボランティアとの協働による公共花壇の植栽管理や花植体験等の実施 ・「維持管理花壇:5か所」の継続実施	区民ボランティアとの協働により、花植え体験イベントなどを実施した。5か所の維持管理花壇について、適切に管理を行った。	●区民ボランティアとの協働による公共花壇の植栽管理や花植体験等の実施 ・「維持管理花壇:5か所」の継続実施
		区内各所に設置した花壇・コンテナ等の維持管理を区民と協働で実施し、潤いのあるまちづくりを推進します。	●区民協働による花と緑のまちづくりの推進 ・「区民ミニガーデン」連絡会との協働による花壇・コンテナ等の維持管理の継続実施 ●キラリデッキ円筒広場花壇の維持管理及び緑化の推進に向けた普及啓発 ・花壇植栽体験を通じた緑化推進に向けた普及啓発の継続実施	●区民協働による花と緑のまちづくりの推進 ・年間を通じて武蔵溝ノ口北口キラリデッキほか10箇所の花壇における植栽管理を区民との協働により実施した。 ●キラリデッキ円筒広場花壇の維持管理及び緑化の推進に向けた普及啓発 ・高津区内小学生と保護者を中心とした34名と共に、キラリデッキ花壇で植栽体験を実施した。	●区民協働による花と緑のまちづくりの推進 ・「区民ミニガーデン」連絡会との協働による花壇・コンテナ等の維持管理の継続実施 ●キラリデッキ円筒広場花壇の維持管理及び緑化の推進に向けた普及啓発 ・花壇植栽体験を通じた緑化推進に向けた普及啓発の継続実施
		区民自身による花壇管理、整備を推進し、区のイメージアップと、緑化活動団体の交流促進・技術向上等、地域の活性化と人材育成を図ります。	●公共用地での花壇づくりを契機とした地域コミュニティの形成支援 ○公園等を活用した花壇づくりのための緑化活動団体に対する花苗の提供 ・提供回数:1回 ●緑化活動団体の活性化に向けた技術支援 ○講座、交流会の開催等による花壇づくりの技術支援 ・開催回数:1回 ●東名川崎インターチェンジ前花壇づくりの実施による市・区のイメージアップ ○緑化活動団体、事業者との協働による花壇づくり ・活動回数:2回	●公共用地での花壇づくりを契機とした地域コミュニティの形成支援 ○公園等を活用した花壇づくりのための緑化活動団体に対する花苗の提供 ・提供回数:1回(36団体 約12,651株) ●緑化活動団体の活性化に向けた技術支援 ○講座、交流会の開催等による花壇づくりの技術支援 ・開催回数:1回(10月ガーデニング講座開催) ●東名川崎インターチェンジ前花壇づくりの実施による市・区のイメージアップ ○緑化活動団体、事業者との協働による花壇づくり ・活動回数:2回(春・秋実施)	●公共用地での花壇づくりを契機とした地域コミュニティの形成支援 ○公園等を活用した花壇づくりのための緑化活動団体に対する花苗の提供 ・提供回数:1回 ●緑化活動団体の活性化に向けた技術支援 ○講座、交流会の開催等による花壇づくりの技術支援 ・開催回数:1回 ●東名川崎インターチェンジ前花壇づくりの実施による市・区のイメージアップ ○緑化活動団体、事業者との協働による花壇づくり ・活動回数:2回
		美しく住みよいまちづくりをめざす美化運動の一環として、毎年1回花いっぱい運動のつどい(参加無料の花と緑の講演会)を開催し、緑化促進の意識向上を図ります。	●花と緑の講演会の開催 ・開催回数:1回	●平成31年3月6日に、「身近な草花の楽しみ方」をテーマとした講演会を開催し、地域美化の一環として来場者にお花を提供した。	●花と緑の講演会の開催 ・開催回数:1回
		地域の団体と連携しながら消えつつある区の花ヤマユリの植栽活動を促進、支援し、植栽のノウハウの蓄積、普及を推進します。	●ヤマユリ植栽地の観察・管理活動の実施 ●ヤマユリ普及のための鉢植え講習会や広報活動の実施	・年間活動日数:59日 参加者延べ人数:303人 ・ヤマユリ育苗講習会 3月26日 参加者:35人 ・ヤマユリ開花展 6月26日~7月5日 ・広報紙「ヤマユリ通信」2月号発行	●ヤマユリ植栽地の観察・管理活動の実施 ●ヤマユリ普及のための鉢植え講習会や広報活動の実施
美化活動団体への支援を通じて、区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を図ります。	●公共的空間にある花壇を自主的・継続的に管理している団体への花苗等の提供	・26団体へ花苗・球根・培養土を提供した。	●公共的空間にある花壇を自主的・継続的に管理している団体への花苗等の提供		
24 緑化助成制度の普及と充実	緑化基金の運用により緑化への適切な助成に努め、環境の改善、景観向上に向けたまちづくりを進めます。	●緑のボランティアなどへの活動支援 ●緑化助成制度を活用した取組の推進 ○助成制度の啓発活動及び支援の実施	事業内容の精査を行い、運用要領や取り扱い基準に則った運用を行った。 ●緑のボランティアなどへの活動支援 ●緑化助成制度を活用した取組の推進 ○助成制度の啓発活動及び支援の実施		
25 生物多様性に配慮した公園緑地の整備	「富士見公園」の施設の再編整備時に、生物多様性の配慮に向けた取組を推進します。	●生物多様性に配慮した整備の検討	・生物多様性に配慮した整備の検討	●生物多様性に配慮した整備の検討	
	等々力緑地の再編整備時に、生物多様性の配慮に向けた取組を推進します。	●生物多様性に配慮した整備の検討	等々力緑地再編整備実施計画に基づき、生物多様性に配慮した整備の検討を行った。	●生物多様性に配慮した整備の検討	
	生田緑地の整備において、生物多様性の配慮に向けた取組を推進します。	●生物多様性に配慮した整備の検討	・生物多様性の配慮に向けた取組を推進	●生物多様性に配慮した整備の検討	
	公園の再整備時に、生物多様性の配慮に向けた取組を推進します。	●生物多様性に配慮した整備の検討	・生物多様性に配慮した整備の検討	●生物多様性に配慮した整備の検討	
26 街路樹・グリーンベルトの充実と適正な管理	「道路整備プログラム」の適切な進行管理を行うとともに、各種調査の実施、計画的な道路整備に向けた調査・検討を進めます。	●「道路整備プログラム」に基づく取組の推進 ・進捗管理	道路整備プログラムに基づく幹線道路整備の推進 ・丸子中山茅ヶ崎線の整備推進 ・横浜生田線の整備推進	●「道路整備プログラム」に基づく取組の推進 ・進捗管理	
	首都圏全体の都市構造の形成や本市の交通機能強化を図るため、広域的な幹線道路網の整備を促進します。	●国直轄道路事業の促進 ・国道409号ほか4路線の整備等に向けた協議調整の継続実施	●国直轄道路事業の促進 ・国道409号の街路整備に伴う植栽について、国との協議・調整を実施した。	●国直轄道路事業の促進 ・国道409号ほか4路線の整備等に向けた協議調整の継続実施	
	街路景観の向上など、良好な都市環境を確保するため、街路樹の適正な維持管理を進めます。	●街路樹の適正な維持管理の実施 ●樹木診断及び樹木更新の実施 ●街路樹植栽の実施	・街路樹管理計画に基づき、街路樹の効果が最大限発揮できるよう、適切な維持管理を実施した。 ・市道高津6号線などの街路樹診断を実施した。	●街路樹の適正な維持管理の実施 ●樹木診断及び樹木更新の実施 ●街路樹植栽の実施	

実施 施策 No.	実施施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
27	河川等の水辺地の保全	河川等について、環境に配慮した都市景観の形成や賑わいとるおいのあるまちづくりの一環として、親水空間の整備を進めます。	● 渋川環境整備の推進 ・「にぎわいの水辺ゾーン」の整備 ・「生物の水辺ゾーン」の整備	・ 渋川環境整備の推進(にぎわいの水辺ゾーンの工事の推進)	● 渋川環境整備の推進 ・「にぎわいの水辺ゾーン」の整備 ・「生物の水辺ゾーン」の整備
		3年に1回程度(時間雨量50mm)の降雨に対応した河川改修に併わせ、自然環境に配慮した多自然川づくりを基本とする河川整備を推進します。	● 一級河川平瀬川支川改修事業の推進 ・ 護岸改修工事 ・ 用地取得 ● 準用河川三沢川改修事業の推進 ・ 事業調整	・ 一級河川平瀬川支川改修事業の推進(護岸改修工事及び用地取得の実施)	● 一級河川平瀬川支川改修事業の推進 ・ 護岸改修工事 ・ 用地取得 ● 準用河川三沢川改修事業の推進 ・ 事業調整
		治水安全度の確保のため、河川及び水路施設の適切な維持管理を行うとともに、施設の長寿命化を図ります。	● 河川・水路施設の適切な維持管理の推進 ○ 適切な維持管理の推進 ・ 「河川維持管理計画」に基づく適切な維持管理	・ 河川・水路の草刈や浚渫等の適切な河川管理施設の維持管理の推進 ・ 河川管理施設及び水路の緊急補修工事の実施 ・ 水路の整備及び改良工事の実施 ・ 河川管理施設の大規模補修工事の実施	● 河川・水路施設の適切な維持管理の推進 ○ 適切な維持管理の推進 ・ 「河川維持管理計画」に基づく適切な維持管理
		国登録有形文化財である久地円筒分水を区の観光資源、区民憩いの場として区民と協働で維持管理します。	● ボランティアとの協働による美化活動の実施 ● 美化活動体験イベントの実施 ● 桜の維持等の専門的な維持管理 ● 久地円筒分水80周年記念事業の検討・実施	● ボランティアとの協働による美化活動の実施 ・ 年17回の美化活動を実施した。 ● 美化活動体験イベントの実施 ・ 5月13日に美化活動体験イベントを実施した。 ● 桜の維持等の専門的な維持管理 ・ 桜の剪定や土壌改良、樹勢回復治療を実施した。 ● 久地円筒分水80周年記念事業の検討・実施 ・ 80周年記念事業プロジェクトチームによる検討	● ボランティアとの協働による美化活動の実施 ● 美化活動体験イベントの実施 ● 桜の維持等の専門的な維持管理 ● 久地円筒分水80周年記念事業の検討・実施
		水環境の保全に向けて、河川・海域等の環境基準・環境目標の達成・維持をめざします。	● 水環境保全計画に基づく取組の推進及び新たな枠組みの構築 ・ 効果検証・指標の考え方に関する整理 ● 公共用水域の水質、生物等に係る状況の把握 ○ 河川・海域における水質調査等の実施 ・ 水質調査回数: 河川、海域とも年12回	・ 水環境基本計画に基づく施策の評価を実施しました。また、新たな計画の策定に向け、より市民が水環境に親しむための方策を検討した。 ・ 河川における水質調査(河川、海域とも年12回)を実施した。	● 水環境保全計画に基づく取組の推進及び新たな枠組みの構築 ・ 効果検証・指標の考え方に関する整理 ● 公共用水域の水質、生物等に係る状況の把握 ○ 河川・海域における水質調査等の実施 ・ 水質調査回数: 河川、海域とも年12回
		健全な水循環の確保のため、雨水浸透機能の回復に向けた取組等を実施します。	● 雨水浸透機能の回復に向けた取組の検討・実施 ● 市で整備した湧水地における調査及び維持管理	・ 雨水浸透機能の回復に向けた取組の検討、実施した。 ・ 整備した湧水地(8箇所9地点)における水量等の調査及び維持管理を実施した。	● 雨水浸透機能の回復に向けた取組の検討・実施 ● 市で整備した湧水地における調査及び維持管理
28	公共空間の緑化推進	地域における緑化推進及び環境問題に関する区民意識向上のための啓発活動を区民との協働により実施します。	● 市民ボランティア等との協働による草花の植栽の実施 ● 支所庁舎への「緑のカーテン」の設置	・ 大師支所・田島支所・富士見公園で市民ボランティアと協働で植栽の実施 ・ 大師支所・田島支所の庁舎に「緑のカーテン」を設置	● 市民ボランティア等との協働による草花の植栽の実施 ● 支所庁舎への「緑のカーテン」の設置
		区民が家庭で取り組める地球温暖化対策を、区民との協働により推進します。	● 庁舎壁面の緑化、ゴーヤの種子の配布など「緑のカーテン大作戦」の実施	● 緑のカーテン大作戦の実施 ・ ゴーヤ育成による庁舎壁面の緑化 ・ 区役所総合受付にてゴーヤの種子の配布	● 庁舎壁面の緑化、ゴーヤの種子の配布など「緑のカーテン大作戦」の実施
		緑のカーテン大作戦や地球温暖化対策、自然エネルギーの活用など、環境や緑の保全に関する普及啓発を推進します。	● 区民一人ひとりが取り組める身近なエコ活動「緑のカーテン」等の普及啓発 ○ 「緑のカーテンづくり」等の普及啓発活動の推進 ・ 苗の配布方法の見直しの実施 ● 太陽光等の自然エネルギーの活用促進 ○ クールアース推進委員会等による自然エネルギー活用の普及啓発 ・ 各種イベントを活用した普及啓発の継続実施	・ 行政施設、大学等で「緑(ゴーヤ)のカーテン」の普及啓発の実施及び苗の配布方法の見直しを実施 ・ 自然エネルギーの普及啓発イベント・講演会・出前授業等(9回)の実施	● 区民一人ひとりが取り組める身近なエコ活動「緑のカーテン」等の普及啓発 ○ 「緑のカーテンづくり」等の普及啓発活動の推進 ・ 苗の配布方法の見直しの実施 ● 太陽光等の自然エネルギーの活用促進 ○ クールアース推進委員会等による自然エネルギー活用の普及啓発 ・ 各種イベントを活用した普及啓発の継続実施
		まちの顔となる公共施設への緑化を行い、環境の改善、景観向上に向けたまちづくりを進めます。	● 花と緑のランドマーク(見所)事業の実施 ● 川崎駅前広場、市役所通りにおける花の街かど事業の実施	川崎駅前広場、市役所通りにおける花の街かど事業を実施した。	● 花と緑のランドマーク(見所)事業の実施 ● 川崎駅前広場、市役所通りにおける花の街かど事業の実施
		「市営住宅等ストック総合活用計画」に基づき、建替えや改善の実施、地域包括ケアシステムと連携した市営住宅の活用を進めます。	● 計画的な市営住宅の建替え及び改善等の推進 ・ 建替え・改善等実施完了棟数: 2棟	● 建替事業の推進 着手: 1団地1棟(中野島4期) 完成: 3団地3棟(初山1期、久末2期、有馬第二2期) ● 建替えに併せ、敷地内緑化の充実を図った。	● 計画的な市営住宅の建替え及び改善等の推進 ・ 建替え・改善等実施完了棟数: 10棟
		教育環境の向上をめざし、学校施設における緑化の取組を推進します。	● 緑のカーテンや校庭芝生化等による緑化の推進	・ 校庭芝生化(新規・拡大) 1校	● 緑のカーテンや校庭芝生化等による緑化の推進
29	事業所による緑化の促進	生産施設の更新や工場の建替えを促進するとともに、工場の緑化推進により工場と周辺地域の生活環境のより一層の調和を図り、「臨海部ビジョン」と連携しながら効果的な緑地創出に向けた取組を推進します。	● 川崎市特定工場緑地整備基本方針に基づく設備更新と緑地増加の誘導	特定工場の緑化推進により、工場と周辺的生活環境との調和の取れた効果的な緑地整備を推進し、緑地の増加を実現した。また、「臨海部ビジョン」と連携した効果的な緑地創出に向けた取組手法の検討を関係課と行った。	● 川崎市特定工場緑地整備基本方針に基づく設備更新と緑地増加の誘導
		事業所緑化を推進し、環境の改善、景観向上に向けたまちづくりを進めます。	● 事業所緑化の推進・支援	事務局として推進協議会の年間活動への支援を行った。 植樹祭で苗木を提供し、協議会として100万本植樹運動に協力した。	● 事業所緑化の推進・支援

実施施策No.	実施施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
30	地域コミュニティ形成の推進	公園を活用したイベントの開催など、公園利用を活性化させる取組を推進します。	●公園利用活性化イベントの実施	高津区、宮前区、麻生区の3区で公園利用活性化イベントとしてふれあい公園を実施した。	●公園利用活性化イベントの実施
		まちの変化に対応しながら地域発意に基づく新たなコミュニティ形成支援の推進に取り組みます。	●公共空間の活用のための取組の検討・推進 ・こすぎコアパーク等における実証事業の実施	・こすぎコアパークの活性化に向けた関係機関との連絡調整の実施 ・こすぎコアパークで開催する小杉駅周辺企業と連携したイベントの企画及び調整の実施	●公共空間の活用のための取組の検討・推進 ・こすぎコアパーク等における実証事業の実施
		河川区域に再編入されたかすみ堤を地域住民と連携して保全・活用することにより、地域住民や訪れる方が安全に憩い、親しみ、散策し、集える場とするともに、地域コミュニティの活性化を図ります。	●市による河川区域の占用に向けた調整及び維持管理 ●地域住民との協働による維持管理に向けた調整及び日常清掃等の実施	●市による河川区域の占用に向けた調整及び維持管理 ・河川占用に向けた国との協議を継続実施 ●地域住民との協働による維持管理に向けた調整及び日常清掃等の実施 ・地元住民との協議を継続実施	●市による河川区域の占用に向けた調整及び維持管理 ●地域住民との協働による維持管理に向けた調整及び日常清掃等の実施
		区民との協働により、公園の樹木への名札の取付を実施します。また、公園の清掃活動を通じて、公園緑地愛護会及び管理運営協議会の設立支援や活性化を図り、地域コミュニティの核としての公園の利活用を進めます。	●区民との協働による樹名板の設置 ●区民参加型による公園等の清掃活動の実施	●樹名板の設置は、10月27日(土)に有馬ふるさと公園において、西有馬小学校児童21名の参加により実施した。 ●公園等の清掃活動は、4月22日(日)に土橋5丁目ポケットパーク及び土橋ひだまりポケットパークにおいて土橋町内会、7月21日(土)に宮前美しの森公園において宮前美しの森公園愛護会との協働により清掃活動を行った。なお、土橋5丁目ポケットパーク及び土橋ひだまりポケットパークは管理運営協議会が設立された。	●区民との協働による樹名板の設置 ●区民参加型による公園等の清掃活動の実施
31	緑を通じた防災力の向上	身近な公園に求められる防災機能を検討し、機能向上を図ります。	●身近な公園の防災機能向上の取組の推進 ・防災機能向上に向けた整備基本計画の策定	・防災機能向上に向けた整備基本計画の策定にむけた庁内関係者による会議の実施	●身近な公園の防災機能向上の取組の推進 ・防災機能向上に向けた整備実施計画の策定 ・施設設計
		自主防災組織の育成、民間企業との連携、防災訓練や研修等による、自助・共助(互助)・公助の取組・連携の強化や各主体の防災意識の向上により、地域防災力の向上を図ります。	●自主防災組織等への支援の実施 ○活動助成金、促進助成金、防災資器材購入補助金による支援 ○災害時要援護者の登録制度及び支援組織への制度の効果的な啓発 ・二次避難所の整備・拡充の取組と連携した効果的な啓発の実施 ○地域の防災訓練支援ツールの周知及び内容の充実 ・「みんなで訓練48」、「川崎版HUG」の作成・配布 ●地域特性に応じた災害対応の推進 ○発災時における二次災害を防止するための取組の推進 ・災害事象や状況に応じた備えに関する広報啓発の実施 ・検討の実施 ○風水害に対してより効果的な避難行動を取るための住民への情報伝達手法の確立 ・検討の実施	●自主防災組織等への支援の実施 ・活動助成金、促進助成金、防災資器材購入補助金による支援 ・二次避難所の整備・拡充の取組と連携した効果的な啓発の実施 ・「みんなで訓練48」、「川崎版HUG」の作成・配布 ●地域特性に応じた災害対応の推進 ・災害事象や状況に応じた備えに関する広報啓発の実施 ・検討の実施	●自主防災組織等への支援の実施 ○活動助成金、促進助成金、防災資器材購入補助金による支援 ○災害時要援護者の登録制度及び支援組織への制度の効果的な啓発の実施 ・二次避難所の整備・拡充の取組と連携した効果的な啓発の実施 ○地域の防災訓練支援ツールの周知及び内容の充実 ・内容の充実等を踏まえた取組の推進 ●地域特性に応じた災害対応の推進 ○発災時における二次災害を防止するための取組の推進 ・災害事象や状況に応じた備えに関する広報啓発の実施 ○風水害に対してより効果的な避難行動を取るための住民への情報伝達手法の確立 ・検討の実施
		老朽木造住宅等が密集した市街地の防災上の改善に取り組み、地震発生時等の火災による延焼被害の低減を推進します。	●不燃化重点対策地区における災害に強い住環境形成の推進	・防災空地について、土地所有者や地元町内会との調整を図り、1件の整備を行った。	●不燃化重点対策地区における災害に強い住環境形成の推進
		地域住民との協働により、地域で使いこなせる公園のあり方の検討・整備の取組を推進します。	●子育てや健康づくりに寄与する公園改修の推進	・菅生第3公園ほか10公園において、地域の実情に配慮した公園改修の実施	●子育てや健康づくりに寄与する公園改修の推進
32	緑を通じた子育て環境の向上と健康増進	自然観察や里山遊びなど、親子で自然体験ができる機会をつくり、自然を大切にすることを育むとともに、その自然を守る地域活動に触れることで、地域に関心を持つきっかけづくりを行います。	●年4回程度のイベントの実施	・年3回実施した。	●年4回程度のイベントの実施
		地域住民が主体となって行う「冒険遊び場」活動を支援し、次世代育成の場をつくることで、子どもたちのすこやかな成長と地域コミュニティの活性化をめざします。	●地域主体での子どもの外遊び「冒険遊び場」の開催支援 ○活動団体、担い手の拡充に向けた支援の実施 ・登録団体の支援の継続実施 ・冒険遊び場ネットワーク会議開催回数:11回 ●事業の普及に向けた広報の推進 ○出張冒険遊び場やシンポジウムの開催による広報活動の実施 ・出張冒険遊び場開催の継続実施 ・シンポジウム開催回数:1回 ○リーフレットの配布による広報活動の実施 ・改訂及び配布の実施	・冒険遊び場ネットワーク会議の開催:年12回 ・普及啓発シンポジウムの開催:1回 ・普及啓発リーフレットの作成:3,000部 ・出張冒険遊び場の実施:年2回	●地域主体での子どもの外遊び「冒険遊び場」の開催支援 ○活動団体、担い手の拡充に向けた支援の実施 ・登録団体の支援の継続実施 ・冒険遊び場ネットワーク会議開催回数:11回 ●事業の普及に向けた広報の推進 ○出張冒険遊び場やシンポジウムの開催による広報活動の実施 ・出張冒険遊び場開催の継続実施 ・シンポジウム開催回数:1回 ○リーフレットの配布による広報活動の実施 ・改訂及び配布の実施
		関係機関と連携し、子どもや子育て世帯を見守る環境づくりを推進します。また、子どもの外遊びを推進するため住民主体の活動を支援します。	●子育て支援者の育成 ○子育て支援者の育成を目的とした「子育て支援者養成講座」、「親子ひろば」の実施 ・開催回数:10回 ●住民主体の外遊びイベントを通じた多世代交流の促進 ・実施回数:3回	●子育て支援者の育成 「親子ひろば」の開催回数:10回 ●住民主体の外遊びイベントを通じた多世代交流の促進 「外遊びイベント」の実施回数:3回	●子育て支援者の育成 ○子育て支援者の育成を目的とした「子育て支援者養成講座」、「親子ひろば」の実施 ・開催回数:10回 ●住民主体の外遊びイベントを通じた多世代交流の促進 ・実施回数:3回
		区の地域資源である生田緑地の豊かな自然の中で体験プログラムを実施し、自然の大切さや郷土への愛着を感じられる機会を提供します。	●各種自然体験プログラムの企画・実施	●事業目的を達成するにあたり、直接事業執行する形態から、他の実施主体による同様の事業への出店協力等を行う形態に移行し、実際に1件の調整を実施した。	●各種自然体験プログラムの企画・実施
		「高津公園体操」の普及啓発や健康づくり活動団体の交流を図り、「健康寿命の延伸」や「多世代交流」、「見守り活動」など共に支え合う地域づくりにつなげます。	●公園体操の普及促進 ○公園体操体験会、継続参加者フォローアップ研修の実施 ・実施回数:1回 ●公園体操及び健康づくり活動の活性化支援 ○公園体操新規立上げ支援・活動継続支援、リーダー向け交流会の開催 ・支援の継続実施 ・リーダー向け交流会開催回数:1回 ○公園体操・健康づくり活動紹介リーフレット作成・配布 ・リーフレット作成・配布 ○健康づくりグループ交流会をはじめとする交流活動の自主運営に向けた支援 ・交流会の実施	●公園体操の普及促進 ○公園体操体験会、継続参加者フォローアップ研修を実施 ・実施回数:1回、参加者数:42名 ●公園体操及び健康づくり活動の活性化支援 ○公園体操新規立上げ支援・活動継続支援、リーダー向け交流会を開催 ・支援の継続実施:各公園体操に地区担当保健師が年1回以上参加 ・リーダー向け交流会開催回数:1回、参加者数:29名 ○公園体操・健康づくり活動紹介リーフレット作成・配布 ・リーフレット「つどいの場ガイドブック」作成:3000部 ○健康づくりグループ交流会をはじめとする交流活動の自主運営に向けた支援 ・交流会を実施 参加者数:430名	●公園体操の普及促進 ○公園体操体験会、継続参加者フォローアップ研修の実施 ・実施回数:1回 ●公園体操及び健康づくり活動の活性化支援 ○公園体操新規立上げ支援・活動継続支援、リーダー向け交流会の開催 ・支援の継続実施 ・リーダー向け交流会開催回数:1回 ○公園体操・健康づくり活動紹介リーフレット作成・配布 ・リーフレットの活用 ○健康づくりグループ交流会をはじめとする交流活動の自主運営に向けた支援 ・自主運営に向けた支援
		健康づくりに関する情報や地域の健康づくりの活動の場についての情報を発信し、区民の健康づくりの実践を推進します。	●健康づくりに関する情報誌を発行 ●地域の活動グループの活動の場等をマップ化し発行	●みやま健康サポートブック「こつこつ」を、子育て世代にも配布し、若いころからの健康づくりを推進した。 ●「公園体操マップ」を多世代に配布し、区民の健康づくりの向上を目指し普及啓発した。	●健康づくりに関する情報誌を発行 ●地域の活動グループの活動の場等をマップ化し発行
		既存施設の補修・整備を行うことで、より多くの区民がスポーツに親しみ、健康や体力の維持増進を図れる環境を作ります。	●スポーツ利用のための西長沢公園多目的広場及び鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の維持管理 ・ダスト舗装等による維持管理の継続実施 ○地域との協働による管理運営(鷺ヶ峰けやき公園多目的広場) ・地域との協働による管理運営の継続実施 ●西長沢調整池の耐震補強工事に併せた西長沢公園多目的広場の整備に関する検討 ・神奈川県内広域水道企業団との協議・調整	●西長沢公園多目的広場のダスト舗装実施 ○鷺ヶ峰けやき公園多目的広場について、地域との協働による管理運営を継続実施	●スポーツ利用のための西長沢公園多目的広場及び鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の維持管理 ・ダスト舗装等による維持管理の継続実施 ○地域との協働による管理運営(鷺ヶ峰けやき公園多目的広場) ・地域との協働による管理運営の継続実施 ●西長沢調整池の耐震補強工事に併せた西長沢公園多目的広場の整備に関する検討 ・神奈川県内広域水道企業団との協議・調整
		生活習慣病の予防及び介護予防を図り、健康寿命を延伸するとともに地域のつながりづくりのため、公園等を拠点とした健康ウォーク及び健康体操を推進します。	●公園等を拠点とした健康づくり・介護予防の推進及び地域のつながりづくり、見守りの推進 ○健康ウォーク・健康体操の活動支援(活動資料の提供等)と新たな拠点づくりに向けた相談・支援の実施 ・健康ウォーク・健康体操の活動支援の継続実施 ・あさおウォーキングマップの普及、現地調査等の実施 ・出前講座等:90回程度	健康ウォーク 209回 3561人参加 健康体操 171回 3198人参加 ウォーキングマップ 5000部増刷 出前講座(出張体操) 195回 3888人参加	●公園等を拠点とした健康づくり・介護予防の推進及び地域のつながりづくり、見守りの推進 ○健康ウォーク・健康体操の活動支援(活動資料の提供等)と新たな拠点づくりに向けた相談・支援の実施 ・健康ウォーク・健康体操の活動支援の継続実施 ・マップの活用に向けた検討の実施 ・出前講座等:90回程度
		地域資源を活用しながら、区民のスポーツ参加を促し、活力ある地域づくり、豊かなコミュニティづくりを図ります。	●スポーツ・健康ロード等の地域資源を活用したスポーツ教室、イベントの実施 ・スポーツ教室、イベントの実施	平成31年3月30日(土)スポーツ・健康ロードボールウォーキング体験会ほかスポーツ体験イベント、教室を開催し約1,000人参加	●スポーツ・健康ロード等の地域資源を活用したスポーツ教室、イベントの実施 ・事業内容の検証・見直しの実施

実施策名	実施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
33	大規模公園緑地等における緑を核としたまちづくりの推進	富士見公園における多様な主体と連携した再編整備を進めます。	●多様な主体との連携手法の検討	・関係課と連携し各種取組を実施	●多様な主体との連携手法の検討
		等々力緑地における多様な主体と連携した再編整備を進めます。	●多様な主体との連携手法の検討	民間活力の効果的な活用を検討するため、マーケットサウンディングを実施した。	●多様な主体との連携手法の検討
		生田緑地にかかわる多様な主体が相互に連携・調整しながら管理運営に参加する「協働のプラットフォーム」の取組を進めます。	●生田緑地マネジメント会議の取組の推進 ・全体会、運営会議、自然環境保全管理会議の開催やプロジェクト等の推進	・運営会議4回、全体会議を1回、プロジェクト会議を3回開催。また、川崎市へ生田緑地の入口の名称についての提言書を提出した。	●生田緑地マネジメント会議の取組の推進 ・全体会、運営会議、自然環境保全管理会議の開催やプロジェクト等の推進
		適切な飼育管理を行うとともに、多様な主体との連携により、人々の交流を生む場として親しまれる動物公園をめざし、公園や地域の賑わい創出に向けた取組を進めます。	●公園や地域のにぎわい創出に向けた取組の推進 ○協働の取組の推進 ・サポーター制度の充実にに向けた検討及び取組推進	・平成30年度末で、54人、11団体がサポーター登録し、平成30年度において、5,768,060円の寄附を受領した。	●公園や地域のにぎわい創出に向けた取組の推進 ○協働の取組の推進 ・サポーター制度の充実にに向けた検討及び取組推進
		貴重な地域資源である夢見ヶ崎公園の魅力高め、地域のコミュニティ拠点として、区民の憩う空間づくりを推進します。	●夢見ヶ崎公園を活用した魅力発信の推進 ○夢見ヶ崎動物公園の動物を題材にしたスマートフォンアプリを活用した魅力発信 ・企業との連携による動物園鑑賞アプリの提供 ○日吉合同庁舎を活用した夢見ヶ崎公園の魅力発信 ・公園一帯の魅力を紹介する展示等の実施 ○地域活動団体等と連携した賑わい創出に向けた取組の実施 ・具体的な取組の検討・実施	●夢見ヶ崎公園を活用した魅力発信の推進 ・動物園まつり等において、企業と連携した動物園鑑賞アプリPRブースを出展 ・日吉合同庁舎2階の夢見ヶ崎動物公園魅力発信コーナー(ゆめみ200テラス)における、園内案内パネルの展示等による魅力の発信 ・新たな賑わい創出に向けた取組「ゆめみらい交流会」の開催(参加者:1回目44人、2回目31人)	●夢見ヶ崎公園を活用した魅力発信の推進 【○夢見ヶ崎動物公園の動物を題材にしたスマートフォンアプリを活用した魅力発信 ・企業との連携による動物園鑑賞アプリの提供】括弧内削除依頼 ○日吉合同庁舎を活用した夢見ヶ崎公園の魅力発信 ・公園一帯の魅力を紹介する展示等の実施 ○地域活動団体等と連携した賑わい創出に向けた取組の実施 ・具体的な取組の検討・実施
34	市街地における緑とオープンスペースの確保と活用	梅林内の散策路等の整備や梅の植樹等を「御幸公園梅香(うめかおる)事業推進計画」に基づき実施し、公園を拠点とした地域活性化の取組を推進します。	●梅林の復活や植樹の取組の推進 ○樹勢回復、植樹等の実施 ・梅植樹数:30本 ○ふるさと寄附金制度を活用した梅植樹の推進 ●地域住民や学校等と連携した取組の推進 ・学校への植樹の促進 ・連携による魅力発信 ・学校における梅の学習 ・記念イベントの検討 ・協働による維持管理の実施	●梅林の復活や植樹の取組の推進 ○樹勢回復、植樹等の実施 ・梅植樹数:55本 ○ふるさと寄附金制度を活用した梅植樹の推進 ●地域住民や学校等と連携した取組の推進 ＜御幸公園観梅会の実施＞ ・古川小学校3年生「うめの里復活大作戦」学習発表会 ・御幸中学校吹奏楽部演奏 ・第二ひかり幼稚園和太鼓クラブ彩鼓奏による和太鼓 ・小向獅子舞保存委員会による小向獅子舞 ・植樹式	●梅林の復活や植樹の取組の推進 ○樹勢回復、植樹等の実施 ・梅植樹数:10本 ○ふるさと寄附金制度を活用した梅植樹の推進 ●地域住民や学校等と連携した取組の推進 ・学校への植樹の促進 ・連携による魅力発信 ・学校における梅の学習 ・記念イベントの検討 ・協働による維持管理の実施
		事業所等の建築の際に緑化に関する協議を行い、市街地の緑を創出し、緑豊かなまちづくりを進めます。	●共同住宅、事業所や公共施設等の建築の際に川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例に基づき敷地内の緑化に関する協議の実施	法令等に基づき、協議・指導を継続して実施した。	●共同住宅、事業所や公共施設等の建築の際に川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例に基づき敷地内の緑化に関する協議の実施
		「地区まちづくり育成条例」に基づき、市民発意の地区まちづくりを行うグループ(団体)に対して、地域特性に応じた良好な住環境の形成に向けたまちづくりルールの策定等の支援を行います。	●「地区まちづくり育成条例」に基づく取組の推進 ○地区まちづくりグループの登録、地区まちづくり組織・地区まちづくり構想の認定 ・登録・認定件数:2件以上 ○住民発意の地区まちづくり活動の支援に関する周知啓発活動の実施 ・周知啓発活動件数:7件以上	○地区まちづくりグループの登録、地区まちづくり組織・地区まちづくり構想の認定 ・登録・認定件数:3件 ○住民発意の地区まちづくり活動の支援に関する周知啓発活動件数:7件	●「地区まちづくり育成条例」に基づく取組の推進 ○地区まちづくりグループの登録、地区まちづくり組織・地区まちづくり構想の認定 ・登録・認定件数:2件以上 ○住民発意の地区まちづくり活動の支援に関する周知啓発活動の実施 ・周知啓発活動件数:7件以上
		景観法や都市景観条例等に基づき、一定規模以上の建築物等に対して、景観に配慮した取組を進めるよう指導・誘導を適切に行い、周辺環境と調和した良好な街なみ形成を促進します。	●景観法に基づく届出の適切な指導・誘導 ●都市景観条例に基づく届出の適切な指導・誘導	・景観法や都市景観条例に基づく届出の指導・誘導の実施および窓口、電話などでの相談対応	●景観法に基づく届出の適切な指導・誘導 ●都市景観条例に基づく届出の適切な指導・誘導
		用途地域の指定や地区計画等の都市計画決定・変更等により、計画的なまちづくりを推進します。	●都市計画決定及び変更などの計画的なまちづくりの推進 ○地域地区や地区計画の決定及び変更等によるまちづくり誘導 ・都市計画手続の推進 ○保育所等を適正に導入した優良な開発計画を誘導するための取組の推進 ・容積率緩和制度の運用開始	●都市計画決定及び変更などの計画的なまちづくりの推進 ○地域地区や地区計画の決定及び変更等によるまちづくり誘導 ・都市計画手続の推進 ○保育所等を適正に導入した優良な開発計画を誘導するための取組の推進 ・容積率緩和制度の運用開始	●都市計画決定及び変更などの計画的なまちづくりの推進 ○地域地区や地区計画の決定及び変更等によるまちづくり誘導 ・都市計画手続の推進 ○保育所等を適正に導入した優良な開発計画を誘導するための取組の推進 ・容積率緩和制度の運用
総合設計制度に基づき、都市における交流や休息機能に資する公開空地の誘導を進めます。	●総合設計制度による公開空地の誘導	許可件数1件(川崎市役所本庁舎)	●総合設計制度による公開空地の誘導		
35	公園の柔軟な運営による魅力の向上	指定管理者制度を含めた更なる民間活力の導入のしくみづくりなど、管理運営方法の検討を進めます。	●公園緑地等の管理運営の推進 ・民間活力導入に伴う条例改正等の手続き ・オープンスペース等の有効活用の検討及び実施	・民間活力導入の促進のための公募設置管理制度的創設に伴う条例改正 ・王禅寺ふるさと公園、大師公園、夢見ヶ崎公園において、都市公園内オープンスペースを活用して、地域や各種団体等と連携したイベントを実施した。	●公園緑地等の管理運営の推進 ・民間活力導入に向けた検討及び実施 ・オープンスペース等の有効活用の検討及び実施
36	緑と一体となった地域資源の保全・活用	古代川崎の歴史的文化遺産を後世まで継承するため、市内で初めて国史跡に指定された「橋樹官衙(たばなかんが)遺跡群」(橋樹郡家跡と影向寺遺跡)の保存・活用を図ります。	●「国史跡橋樹官衙遺跡群保存活用計画」に基づく取組の推進 ・計画に基づく保存管理・活用の実施 ・史跡指定地の公有地化の推進 ・活用事業への参加者数:150人以上 ・市民との協働による史跡環境整備・維持管理の継続実施 ●橋樹官衙遺跡群の整備基本計画に基づく整備の推進 ・整備基本計画の策定 ●橋樹官衙遺跡群の調査・研究の推進 ・調査及び研究の継続実施	●「国史跡橋樹官衙遺跡群保存活用計画」に基づく取組の推進 ・計画に基づく公有地の保存管理、史跡追加指定、年4回活用事業を実施した。 ・土地所有者の合意がとれた土地約132㎡についての公有地化を完了した。 ・遺跡の確認調査に伴う現地見学会を2回、橋樹官衙遺跡群と周辺文化財を巡る史跡めぐりを2回実施し、活用事業の参加者の合計は約310人であった。 ・橋樹郡跡史跡保存会と連携し、史跡パトロールや維持管理を実施した。 ●橋樹官衙遺跡群の整備基本計画に基づく整備の推進 ・有識者会議4回、庁内検討委員会3回、パブリックコメントを実施し平成31年1月に国史跡橋樹官衙遺跡群整備基本計画を策定した。 ●橋樹官衙遺跡群の調査・研究の推進 ・橋樹郡家跡第28次・第29次確認調査と、影向寺遺跡第23次確認調査を実施した他、古代官衙の研究発表会に参加した。	●「国史跡橋樹官衙遺跡群保存活用計画」に基づく取組の推進 ・計画に基づく保存管理・活用の実施 ・史跡指定地の公有地化の推進 ・活用事業への参加者数:200人以上 ・市民との協働による史跡環境整備・維持管理の継続実施 ●橋樹官衙遺跡群の整備基本計画に基づく整備の推進 ・整備に向けた基本・実施設計 ●橋樹官衙遺跡群の調査・研究の推進 ・調査及び研究の継続実施
		二ヶ領用水総合基本計画などに基づき、親水整備ならびに老朽化した施設の更新を行います。	●二ヶ領用水総合基本計画に基づく事業の推進 ・施設等の整備・更新	・今後の整備に向けての関係各部署との調整を実施した。	●二ヶ領用水総合基本計画に基づく事業の推進 ・施設等の整備・更新
		区内の歴史・文化・自然などの地域資源のネットワーク化を図り、回遊性のある魅力的なまちづくりを推進します。	●「高津のさんぽみち」を活用した回遊性のある魅力的なまちづくりの推進 ○ルートマップ作成・道しるべの設置による回遊性の向上 ・ルートマップ作成・道しるべの設置(江川～蟹ヶ谷ルート) ○地域資源をめぐるウォーキングイベントの実施 ・ウォーキングコースの選定・イベントの実施	●「高津のさんぽみち」を活用した回遊性のある魅力的なまちづくりの推進 ○ルートマップ作成・道しるべの設置による回遊性の向上 ・ルートマップ作成、道しるべの設置 1コース、3箇所(江川・神庭緑地コース) ○地域資源をめぐるウォーキングイベントの実施 ・ウォーキングイベントの実施 1回(江川・神庭緑地コース)	●「高津のさんぽみち」を活用した回遊性のある魅力的なまちづくりの推進 ○ルートマップ作成(大仙街道ルート) ○地域資源をめぐるウォーキングイベントの実施 ・ウォーキングコースの選定・イベントの実施
		「歴史的遺産」や「農」といった地域資源を活用し、地域をめぐるウォーキングイベントの実施や、マップの配布による情報発信を行い、郷土愛の醸成と多様な人材の参画による地域づくりを推進します。	●「歴史的遺産」を活用した魅力発信 ○市民活動団体との協働による宮前歴史ガイドの発行・改訂に向けた調査、配布の実施 ○市民活動団体との協働による歴史ガイドまち歩きマップの発行 ・2コース改訂、発行及び配布の実施 ●市民活動団体との協働による「農」を活用した魅力発信 ○市民活動団体との協働による農産物直売所ガイド&マップの発行 ・配布の実施 ●ウォーキングイベントの開催による地域資源の魅力発信 ○市民活動団体との協働による、歴史的資源や地域の農資源、農に関する課題を紹介するまち歩きイベントの開催 ・歴史ガイドでまち歩き:春2回、秋2回開催 ・農家巡りウォーキング:春1回、秋1回開催	●「歴史的遺産」を活用した魅力発信 ○市民活動団体との協働による宮前歴史ガイドの発行・改訂に向けた調査、配布の実施 ○市民活動団体との協働による歴史ガイドまち歩きマップの発行 ・2コース(平・王禅寺道)改訂、発行及び配布の実施 ●市民活動団体との協働による「農」を活用した魅力発信 ○市民活動団体との協働による農産物直売所ガイド&マップの活用促進及び配布の実施 ●ウォーキングイベントの開催による地域資源の魅力発信 ○市民活動団体との協働による、歴史的資源や地域の農資源、農に関する課題を紹介するまち歩きイベントの開催 ・歴史ガイドでまち歩き:春2回、秋2回(4・6・10・12月)開催 ・農家巡りウォーキング:春1回、秋1回(6・11月)開催	●「歴史的遺産」を活用した魅力発信 ○市民活動団体との協働による宮前歴史ガイドの発行・改訂、配布の実施 ○市民活動団体との協働による歴史ガイドまち歩きマップの発行 ・改訂に向けた全コース調査及び配布の実施 ●市民活動団体との協働による「農」を活用した魅力発信 ○市民活動団体との協働による農産物直売所ガイド&マップの発行 ・配布の実施 ●ウォーキングイベントの開催による地域資源の魅力発信 ○市民活動団体との協働による、歴史的資源や地域の農資源、農に関する課題を紹介するまち歩きイベントの開催 ・歴史ガイドでまち歩き:春2回、秋2回開催 ・農家巡りウォーキング:春1回、秋1回開催

実施 施策 No.	実施施策名	主な取組	平成30(2018)年度		令和元(2019)年度
			事業内容・目標	実績	事業内容・目標
37	地域連携による里地・里山の保全と利活用	緑の基本計画において「緑と農の3大拠点」として位置付けられている黒川、岡上、早野地区の樹林地を保全・再生することで、良好な里山環境を次世代に継承していきます。	●「黒川地区緑地保全活用基本計画」に基づく取組の推進 ●黒川海道緑地の散策路等整備に向けた取組の推進	●黒川地区緑地保全活用基本計画に基づき、地元団体と連携し、黒川海道特別緑地保全地区の植生管理の実施 ●黒川海道特別緑地保全地区の散策路を整備 ●岡上地区及び早野地区における市民・教育機関との協働による里山の植生管理の実施	●「黒川地区緑地保全活用基本計画」に基づく取組の推進 ●黒川海道緑地の散策路等整備に向けた取組の推進
		首都圏において、貴重な自然環境を有している多摩・三浦丘陵の緑地を市域を越えて関係自治体と連携することで、広域的・効果的に緑地保全を進めます。	●関係13自治体による「多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議」の開催 ●多摩・三浦丘陵の魅力発信イベントの開催	●多摩・三浦丘陵広域連携会議(本会議2回、ワーキング会議2回、分科会4回)を開催し、広域連携による市民協働の緑地保全モデルの実現に向けて、緑と水景を支えるしくみづくり等の検討を行った。 ●多摩三浦丘陵の魅力発信するためのイベントとして、「ウォーキングラリー」と広域連携による緑の保全活動「里地里山文化プログラム」を実施	●関係13自治体による「多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議」の開催 ●多摩・三浦丘陵の魅力発信イベントの開催
		里地・里山の保全や魅力をテーマにした講座やイベントを開催し、地域住民や子どもたちなど若い世代に、里地・里山の魅力や必要性を伝えます。	●里地・里山保全に関するイベント、人材育成交流事業等の開催 ○里地・里山の自然や文化等を継承し、未来へつなぐ里地・里山カフェ塾や里山フォーラムの開催 ○ボランティアの育成、確保等を目的とした人材育成交流事業の実施 ●あさお里山こどもクラブの継続実施 ●里地・里山の魅力の発信 ○里地、里山への関心を高め、変わりゆく自然、風景の保存を目的とした風景写真展の開催、風景写真記録集の発行 ●風景写真展の開催、風景写真記録集の発行	●里地・里山カフェ塾として、からむしボランティア研修会を2回、万福寺人形品評会を1回開催 ●里山フォーラムin麻生を1回開催 ●あさお里山こどもクラブを6回、ナチュラル系養成講座を6回開催 ●わたしのまのちのホットする風景写真展の開催と風景写真記録集の発行	●里地・里山保全に関するイベント、人材育成交流事業等の開催 ○里地・里山の自然や文化等を継承し、未来へつなぐ里地・里山カフェ塾や里山フォーラムの開催 ○ボランティアの育成、確保等を目的とした人材育成交流事業の実施 ●あさお里山こどもクラブの継続実施 ●里地・里山の魅力の発信 ○里地、里山への関心を高め、変わりゆく自然、風景の保存を目的とした風景写真展の開催、風景写真記録集の発行 ●事業内容の検証・見直しの実施
		区民や大学、学校、農業事業者等と連携し、区内農業資源や環境資源を活かし、地域活性化を推進します。	●黒川地域連携協議会を通じた実施計画に基づく取組の推進・検証 ●協議会開催回数:2回 ●黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり実施計画の更新 ●岡上地区、早野地区の地域活性化の検討 ●地域資源調査の実施 ●農を通じた地域活性化の取組の推進 ○収穫体験イベント等による地域活性化に向けた取組の実施 ●実施計画の更新に伴う事業内容の見直し	●明治大学・川崎市黒川地域連携協議会の開催(2回) ●黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり実施計画の更新 ●岡上地区の地域資源調査の実施 ●収穫体験(2回)、アート展示、アート散策・解説ツアーの実施 ●保全活動イベントの開催	●黒川地域連携協議会を通じた実施計画に基づく取組の推進・検証 ●協議会開催回数:2回 ●実施計画に基づく取組の推進 ●岡上地区、早野地区の地域活性化の検討 ●調査結果に基づく取組の検討 ●農を通じた地域活性化の取組の推進 ○収穫体験イベント等による地域活性化に向けた取組の実施 ●見直しを踏まえた実施
		多様な主体との共創による新たな農業価値の創造を図ります。	●多様な主体(農業者、事業者、工業者、情報産業事業者、大学、福祉団体、市民等)の連携による地域農業の活性化の推進 ●多様な主体と連携したフォーラムや連携部会の運営、モデル事業の継続実施 ●「早野里地里山づくり推進計画」に基づく早野地区の活性化に向けた支援 ●推進計画に基づく早野地区活性化懇談会の開催や協働事業の推進の継続実施	●第5回都市農業活性化連携フォーラム 平成31年1月28日開催 ●モデル事業実施事業者数:5件 ●平成31年度早野地区活性化懇談会 平成31年3月14日実施 ●協働事業の実施 ●早野野菜マーケットの実施(4回) ●早野地区里山散策&ハーブ摘み取り体験ツアーの実施(10月)、早野地区里地里山散策&のらぼう菜摘み取り体験ツアーの実施(3月) ●農産物加工品 かぼちゃピューレの開発及び販売【8月~10月】	●多様な主体(農業者、事業者、工業者、情報産業事業者、大学、福祉団体、市民等)の連携による地域農業の活性化の推進 ●多様な主体と連携したフォーラムや連携部会の運営、モデル事業の継続実施 ●「早野里地里山づくり推進計画」に基づく早野地区の活性化に向けた支援 ●推進計画に基づく早野地区活性化懇談会の開催や協働事業の推進の継続実施
生田緑地の自然の保全・利用方針及び植生管理計画に基づき、保全を前提とした利用との調整と、両者が好循環するしくみを推進します。	●適正な植生管理に向けた取組の推進 ●北口地区の植生管理区分と目標植生の検討	●北口地区の植生管理区分案と目標植生案を作成した。	●適正な植生管理に向けた取組の推進 ●その他の地区の植生管理区分と目標植生の検討		
38	多摩川の利活用による地域活性化	流域自治体との連携により、環境学習や体験活動の取組を進め、さまざまな機会を通して多摩川の魅力発信します。	●流域自治体との協働、連携の取組の推進 ○協働による取組の推進 ●市民や流域自治体との協働・連携による取組の推進の継続実施	●流域自治体との協働、連携の取組の推進 ●「多摩川水辺の楽校シンポジウム川崎」において、世田谷区と連携して開催した。 ●八王子市日野市と連携して水たまりキッズにおけるを上流体験の実施に向けて取り組んだ。 ●国や多摩川流域懇談会等と連携して夏休み多摩川教室、歴史セミナー等を実施した。	●流域自治体との協働、連携の取組の推進
		多摩川の更なる魅力向上を図るため、多様な主体との協働により、水辺の賑わい創出に向けた取組を進めます。	●多摩川の魅力を活かす取組の推進 ○民間活力導入による取組の推進 ●多摩川緑地パークビュー広場(二子橋)の適正な運営の継続実施 ●賑わい創出に向けた取組の推進の継続実施 ●利用環境向上に向けた取組の推進	●多摩川の魅力を活かす取組の推進 ●「水辺で乾杯in川崎」、「SUP THE RIVER TAMA GAWA」、「キャンドルスケープ」、「多摩川綱引き大会」、「カワサキキャンプ」などの多様な主体と連携したイベントを実施した。	●多摩川の魅力を活かす取組の推進 ○民間活力導入による取組の推進 ●多摩川緑地パークビュー広場(二子橋)の適正な運営の継続実施 ●賑わい創出に向けた取組の推進の継続実施 ●利用環境向上に向けた取組の推進 ○協働による取組の推進 ●市民や流域自治体との協働・連携による取組の推進の継続実施
39	多様な主体との連携による風の道の形成	「臨海部ビジョン」と連携しながら、「かわさき臨海のもりづくり」緑化推進計画に基づく、臨海部の環境や景観の改善を図ります。	●かわさき臨海のもりづくり区域の取組の推進 ●東扇島地区の環境整備の推進	●東扇島地区の街路樹更新による環境整備	●かわさき臨海のもりづくり区域の取組の推進 ●東扇島地区の環境整備の推進
		「臨海部ビジョン」と連携しながら、市民と港で働く人々に憩いと安らげる場を提供していくため、魅力ある港湾空間の形成をめざし、港湾緑地整備を推進します。	●港湾緑地の魅力向上に向けた取組の推進 ●港湾緑地の調査、課題抽出、対応策検討	○港湾緑地活用方策 ●港湾緑地の利用率向上に資する対応策として、民間活力の導入を決定。東扇島西公園を活用したモデル事業の実施に向けた事業提案の募集を行った。	○港湾緑地の利用率向上に資するモデル事業の実施
		「臨海部ビジョン」に示す目指す将来像の実現に向けて、効果的な緑地を創出する仕組みの検討、導入を推進します。	●「臨海部ビジョン」に示す「目指す将来像」の実現のためのプロジェクトの推進 ●リーディングプロジェクトの具体化に向けた検討	●臨海部の緑地創出に係る新たな制度の検討	●「臨海部ビジョン」に示す「目指す将来像」の実現のためのプロジェクトの推進 ●リーディングプロジェクトの具体化に向けた検討
40	臨海部において市民が親しみ憩える良質な緑の創出	関係団体と連携し、川崎みなと祭りなど各種イベントを実施し、川崎港の振興を図ります。	●関係団体が開催するイベント等を通じた人々の交流やレクリエーションの場づくりの推進 ●川崎みなと祭り、ビーチバレーボール川崎市長杯の開催の継続実施 ●市民が港と触れ合える施設の活用促進に向けた取組の推進 ●川崎マリエン、東扇島東公園等の施設の活用促進に向けた広報の継続実施 ●港湾空間を活用した新たな賑わい創出に向けた取組の推進 ●東扇島東公園10周年イベントの開催 ●クルーズ船(ホテルシップ等)誘致に向けた受入施設の安全評価等の調査	●川崎みなと祭りでは、例年の内容に加えて、東扇島10周年イベントの実施(来場者数25万人) ●大学ビーチバレー選手権やビーチバレーボール川崎市長杯など、ビーチバレーを通じた人々の交流やレクリエーションの場づくりの推進 ●テレビ局などのメディアによる取材や、各種広報物等を活用し、川崎港のPR活動を実施した。	●関係団体が開催するイベント等を通じた人々の交流やレクリエーションの場づくりの推進 ●川崎みなと祭り、ビーチバレーボール川崎市長杯の開催の継続実施 ●市民が港と触れ合える施設の活用促進に向けた取組の推進 ●川崎マリエン、東扇島東公園等の施設の活用促進に向けた広報の継続実施 ●港湾空間を活用した新たな賑わい創出に向けた取組の推進 ●東京オリンピック・パラリンピックの機会を捉えたクルーズ船(ホテルシップ等)誘致に向けた取組の検討・推進
		港湾緑地における民間イベントの適切な開催を促進し、良好な港湾環境の形成を図ります。	●港湾緑地でのイベント等の開催の指導・管理	●港湾緑地でのイベント等の開催の指導・管理 ●各港湾緑地における、音楽、スポーツなどの各種イベントの開催回数:37回	●港湾緑地でのイベント等の開催の指導・管理
		「臨海部ビジョン」に示す「目指す将来像」の実現に向けて、臨海部の戦略的マネジメントを推進します。	●臨海部の魅力を発信し、市民の認知度・理解度向上に向けたPR・ブランディング戦略の推進 ○国内外に向けたメディアを活用した臨海部のPRの推進 ●ニュースレターの発行(年3回)の継続実施 ●PR動画を効果的に活用した取組の推進 ○市民の認知度の向上や市内学校への学習機会の創出に向けた取組の推進 ●市内学校を対象とした臨海部企業等の見学会の実施(年3回以上) ●市民に向けた企業活動を伝える仕組みの検討	○国内外に向けたメディアを活用した臨海部のPRの推進 ●ニュースレターを3回発行した。 ○市民の認知度の向上や市内学校への学習機会の創出に向けた取組の推進 ●学習機会の創出に向けて理科教室を開催するとともに、臨海部企業等の見学会を4回実施した。 ●親子企業見学会を開催した。	●臨海部の魅力を発信し、市民の認知度・理解度向上に向けたPR・ブランディング戦略の推進 ○国内外に向けたメディアを活用した臨海部のPRの推進 ●ニュースレターの発行(年3回)の継続実施 ●PR動画を効果的に活用した取組の推進 ○市民の認知度の向上や市内学校への学習機会の創出に向けた取組の推進 ●市内学校を対象とした臨海部企業等の見学会の実施(年3回以上) ●市民に向けた企業活動を伝える仕組みの検討

■施策展開を行う緑の総量の目標達成状況

【概要】
 ・緑の基本計画の計画期間は、平成30(2018)年度～令和9(2027)年度までの10年間である。
 ・第1期緑の実施計画は、平成30(2018)年度～令和3年度(2021年度)までの4年間の計画期間である。

保全、創出、育成及び活用する緑の要素	内容	前実施計画期間			平成30(2018)年度実績	平成30年度実績の主な増減要因	令和9(2027)年度目標値
		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績			
緑地保全 (特別緑地保全地区等)	市街地に残る貴重な樹林地や農地については、法律・条例等に基づき区域指定を行うことで、保全・活用を進めていきます。	236	241	242	243	特別緑地保全地区の指定	300
農地保全 (生産緑地、農業振興地域農用地等)		376	368	365	364	生産緑地の指定解除	343
公園緑地等の整備 (都市公園、港湾緑地等)	公園や港湾緑地等については、多様な利用機能の発揮や、うるおいのある生活環境の創出に向けた整備を進めていきます。	775	776	782	785	街区公園の整備 都市林の整備	830
緑化地の創出 (公共施設緑化、街路樹等)	市街地における緑化地の確保を、市民・民間企業・行政の協働により進めていきます。	911	957	973	975	緑化協議による緑化地の整備	1082
合計		2,298	2,342	2,362	2,367		2,555

